

平成 27 年度
江田島市市民満足度調査について

平成 27 年 10 月
江田島市企画部企画振興課

目 次

第 1	アンケート調査の実施概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査の実施方法	1
4	調査日程	1
5	アンケート回収状況	1
6	集計結果の表記	1
第 2	回答者の属性	2
1	性別	2
2	年齢階層	2
3	居住地	3
4	居住年数	3
5	職業等	4
6	世帯の人数（同居家族）	4
7	65 歳以上人員（同居家族）	5
8	乳児～小学生人員（同居家族）	5
第 3	江田島市や地域・地区の現状，市の取組について	6
1	今後の重要度と現状の満足度	6
2	江田島市や地域・地区の現状，市の取組の評価	10
第 4	自由意見	26

第1 アンケート調査の実施概要

1 調査の目的

第2次江田島市総合計画の基本構想では、「『恵み多き島』えたじま」を10年後の目指す姿とし、それを実現するために、「市民満足度の高いまちづくり」と「未来を切り開くまちづくり」を掲げています。

本アンケート調査では、この戦略にもとづく江田島市の取組（事務事業）が、実際にどのような効果があるかなどを、市民の皆さまの目線で検証し、より実効性のある取組としていくため、毎年度、市民満足度調査を実施し、幅広く市民の意向などを把握することを目的とします。

2 調査対象

16歳以上の江田島市民のうちから、2,000人（無作為抽出）

3 調査の実施方法

前記対象者への無記名アンケート調査方式
郵送による、調査票の配布・回収

4 調査日程

郵送配布：平成27年7月2日（木）
回収締切：平成27年7月15日（水）

5 アンケート回収状況

回収数：718票
回収率：35.9%

表 旧町別回収数及び回収率

区分	配布数（票）	回収数（票）	回収率（%）	参考：H26調査回収率（%）
江田島町	720	283	39.3	39.4
能美町	430	150	34.9	26.8
沖美町	270	97	35.9	30.4
大柿町	580	180	31.0	44.7
不明	—	8	—	—
合計	2,000票	718票	35.9	35.9

6 集計結果の表記

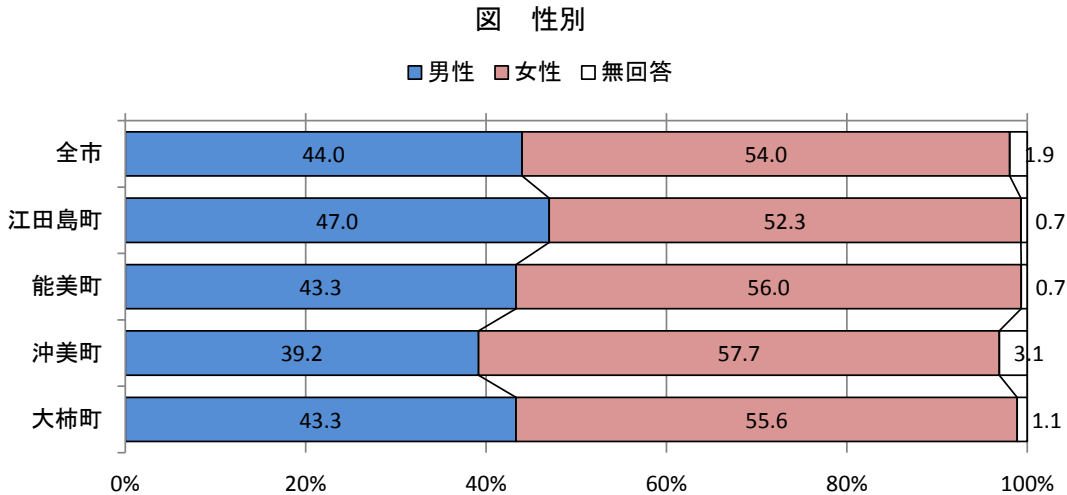
各回答の割合（%）は、少数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、端数処理の関係から、各回答の割合（%）の合計が100%にならない場合があります。

第2 回答者の属性

1 性別

回答者の性別は、女性が54.0%を占め、男性よりも10.0%多くなっています。

居住地別にみても、沖美町の男女差18.5%を最大として、いずれの町も女性が多くなっています。



2 年齢階層

回答者の年齢階層は、「70歳以上」が38.3%で最も多く、次いで「60歳代」が24.2%、「50歳代」が11.3%となっており、60歳以上が全体の62.5%を占めています。

居住地別にみると、ほぼ全体と同様の傾向にありますが、能美町では他の町と比べて「60歳代」が多く、「70歳代」が少なくなっています。

平成22年国勢調査の16歳以上人口に占める60歳以上の割合は50.5%となっており、今回のアンケート調査では60歳以上の回答者が12.0%高くなっています。

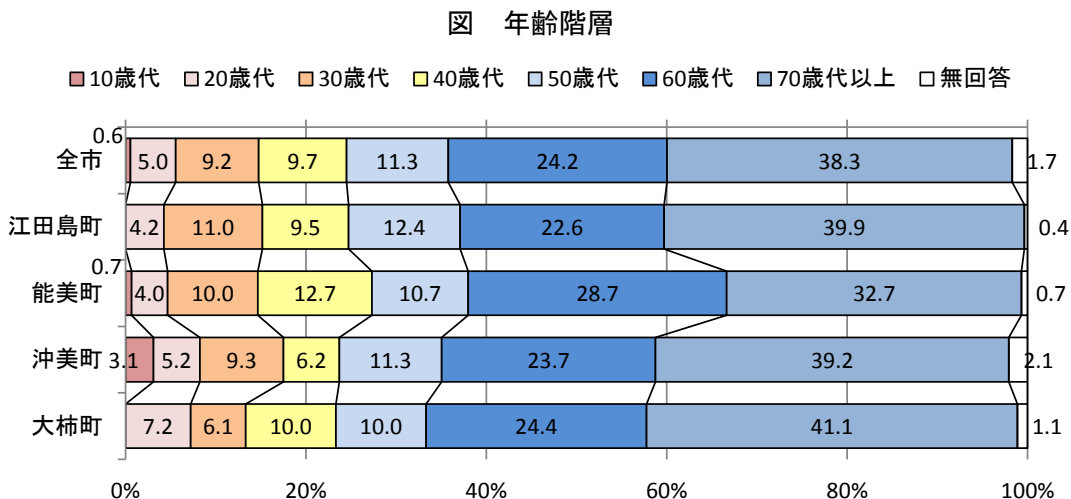


表 参考：江田島市の年齢構成（16歳以上人口）－平成22年国勢調査－

上段：人 下段：%

区分	総人口	16歳以上人口	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
全市	27,031	24,361	700	2,343	2,903	2,633	3,480	4,941	7,361
	—	100.0	2.9	9.6	11.9	10.8	14.3	20.3	30.2

3 居住地

回答者の居住地を町別で見ると、「江田島町」が39.4%で最も多く、次いで「大柿町」25.1%、「能美町」20.9%、「沖美町」13.5%となっています。

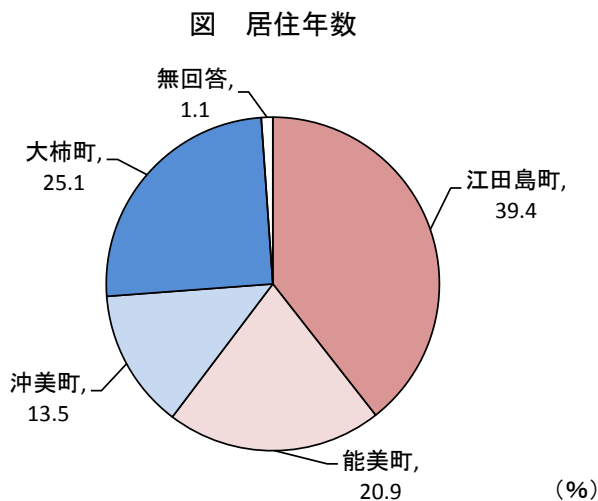


表 居住地

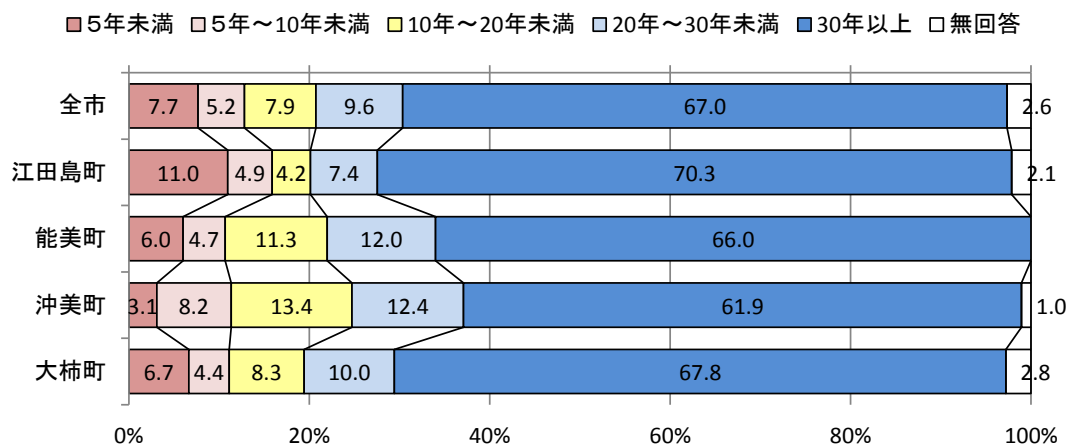
町名・地区別		回答者数 (人)	構成比 (%)
江田島町	中央 (術校含む)	58	8.1
	鷺部	34	4.7
	江南	21	2.9
	秋月	14	1.9
	小用	36	5.0
	切串	71	9.9
	幸ノ浦, 大須	16	2.2
	津久茂	15	2.1
宮ノ原	18	2.5	
小計		283	39.4
能美町	高田	29	4.0
	中町	61	8.5
	鹿川	60	8.4
小計		150	20.9
沖美町	三吉	31	4.3
	高祖	19	2.6
	美能	5	0.7
	岡大王	15	2.1
	畑	8	1.1
	是長	19	2.6
小計		97	13.5
大柿町	深江	19	2.6
	小古江	9	1.3
	大原	58	8.1
	大君	24	3.3
	柿浦	38	5.3
	飛渡瀬	32	4.5
小計		180	25.1
不明		8	1.1
合計		718	100

4 居住年数

回答者の江田島市での居住年数は、「30年以上」が67.0%と半数を超えていますが、これは回答者の年齢構成との関係が強いと言えます。

居住地別にみても、おおむね全市と同様の傾向にあります。江田島町では「5年未満」が11.0%と他の町に比べて多くなっています。一方、能美町と沖美町では、「10年～20年未満」、「20年～30年未満」の割合が高くなっています。

図 居住年数

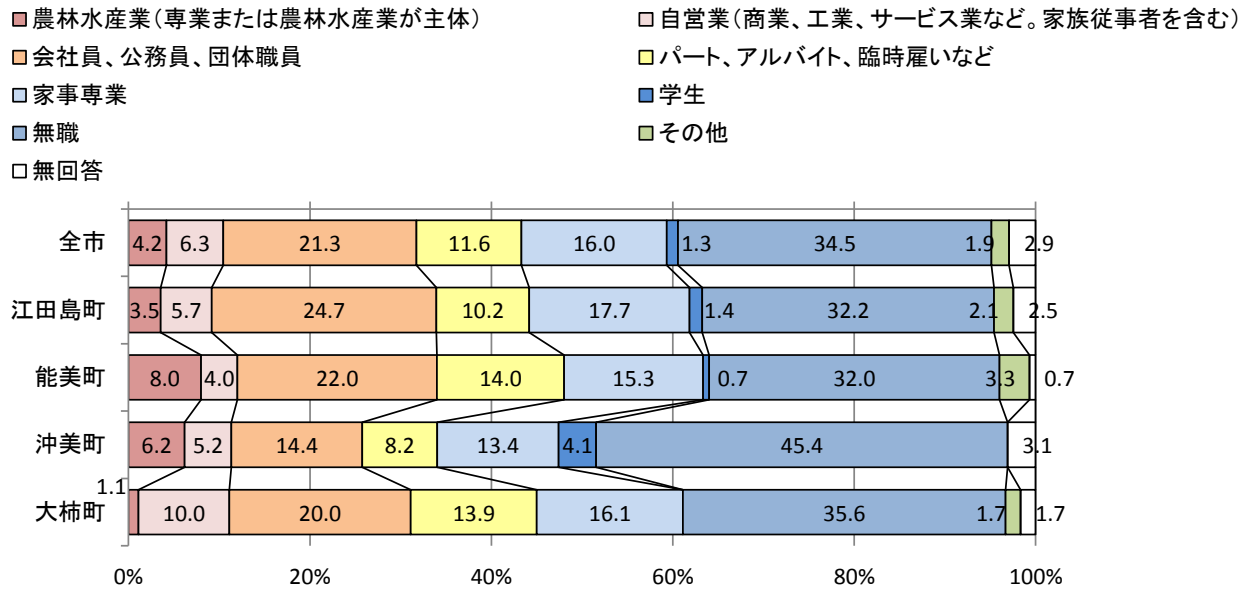


5 職業等

回答者の職業等は、「無職」が34.5%で最も多く、次いで「会社員、公務員、団体職員」が21.3%、「家事専業」が16.0%などとなっています。

町別にみても、概ね全市と同様の傾向にあります。沖美町では他の町と比べて、「無職」の割合が45.4%と高く、また「会社員、公務員、団体職員」が14.4%と低くなっています。

図 職業等

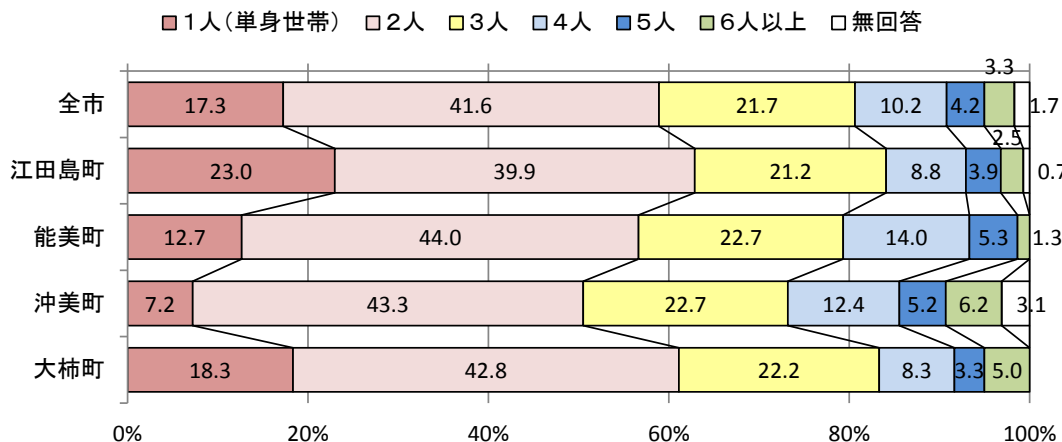


6 世帯の人数(同居家族)

回答者の家族構成は、「2人」が41.6%で最も多く、次いで「3人」が21.7%、「1人(単身世帯)」が17.3%などとなっています。

町別にみると、構成割合に若干の差異がみられ、江田島町では「1人(単身世帯)」が23.0%と他の町に比べて高く、逆に沖美町では7.2%と低くなっています。

図 世帯の人数

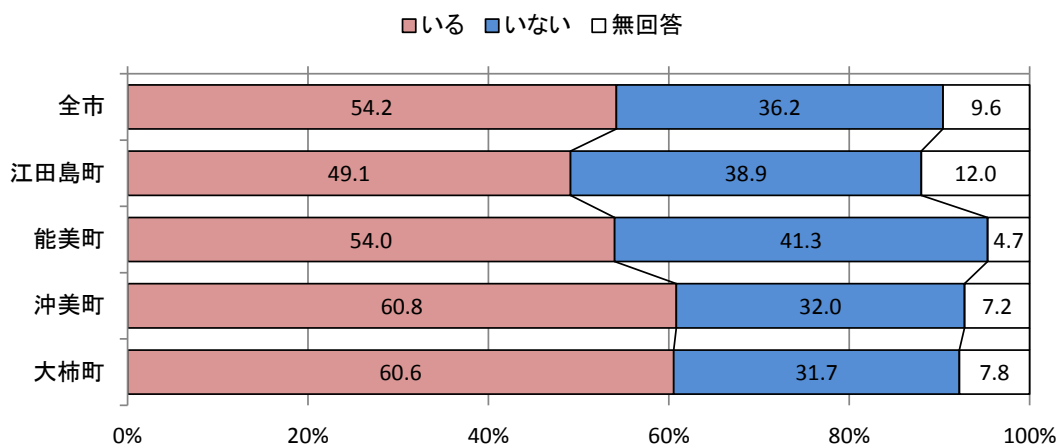


7 65歳以上人員（同居家族）

同居している家族に65歳以上の方がいるかについては、「いる」が54.2%となっており、「いない」に比べて18.0%多くなっています。

町別にみると、江田島町のみが「いる」が5割未満となっており、沖美町と大柿町では6割を超えています。

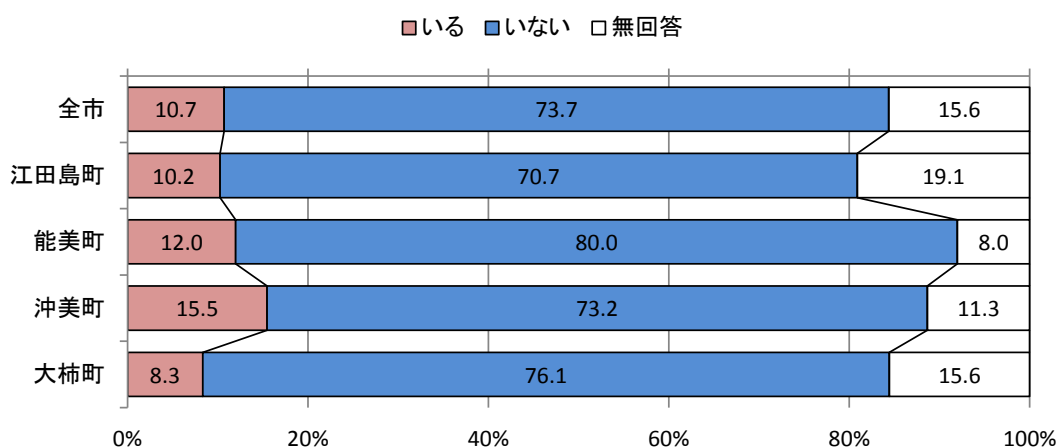
図 65歳以上人員（同居家族）の有無



8 乳児～小学生人員（同居家族）

同居している家族に乳児～小学生の方がいるかについては、「いる」が10.7%となっています。町別では、沖美町が15.5%と高く、大柿町が8.3%と低くなっています。

図 乳児～小学生人員（同居家族）の有無



第3 江田島市や地域・地区の現状、市の取組について

1 今後の重要度と現状の満足度

問2 あなたは、江田島市などが行っている主要な取組それぞれについて、今後の取組における重要度（重点度）と、現在の状況に対する満足度を、どのように思われますか。（○印はそれぞれ1つ）

江田島市や地域・地区の現状、市の取組の今後の重要度について、各項目（設問）を一覧（7頁）すると、重要度（「特に重要」または「重要」と答えた割合）が高いのは、教育・文化の「学校教育の内容（小中学校）」が82.5%、「学校と地域・家庭との信頼関係」が78.1%、福祉・保健の「医療機関の充実」が78.5%となっています。

この他、福祉・保健の「介護サービスの充実」、「高齢者福祉・介護施設の整備」、安全・安心の「大規模災害等に備えた危機管理体制の構築」、「救急体制の充実・強化」や基盤の「海上交通の確保」で重要度が70%を超えています。

一方、重要度が低いのは、地域部門の「国際化・多文化共生の推進」が29.4%、「都市との交流の促進」が36.1%、生活・環境の「男女共同参画の推進」36.3%、基盤の「公園緑地の整備」38.5%、地域の「地域活動拠点の整備」39.7%などとなっており、生活・環境や地域に関する項目で重要度が低いものが多くなっています。

江田島市や地域・地区の現状、市の取組の現状の満足度について、各項目を一覧（7頁）すると、満足度（「とても満足」または「満足」と答えた割合）が高いのは、基盤の「上水道の整備」16.5%、「下水道の整備」14.2%、教育・文化の「学校施設の整備」14.1%、全般・その他の「市役所・支所などの窓口対応」13.6%などが比較的評価が高くなっています。

この他、生活・環境、教育・文化、安全・安心に関する項目の一部にも、満足度が10%を超えているものがあります。

一方、満足度が低いのは、産業・観光の「労働者福祉の向上」1.7%、「農林業の後継者・担い手の育成」1.8%、「企業誘致の推進」、「創業・起業への支援」、「地場産業への支援」などが2.0%で、いずれも産業・観光で満足度が低くなっています。

図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての今後の重要度 (特に重要+重要)

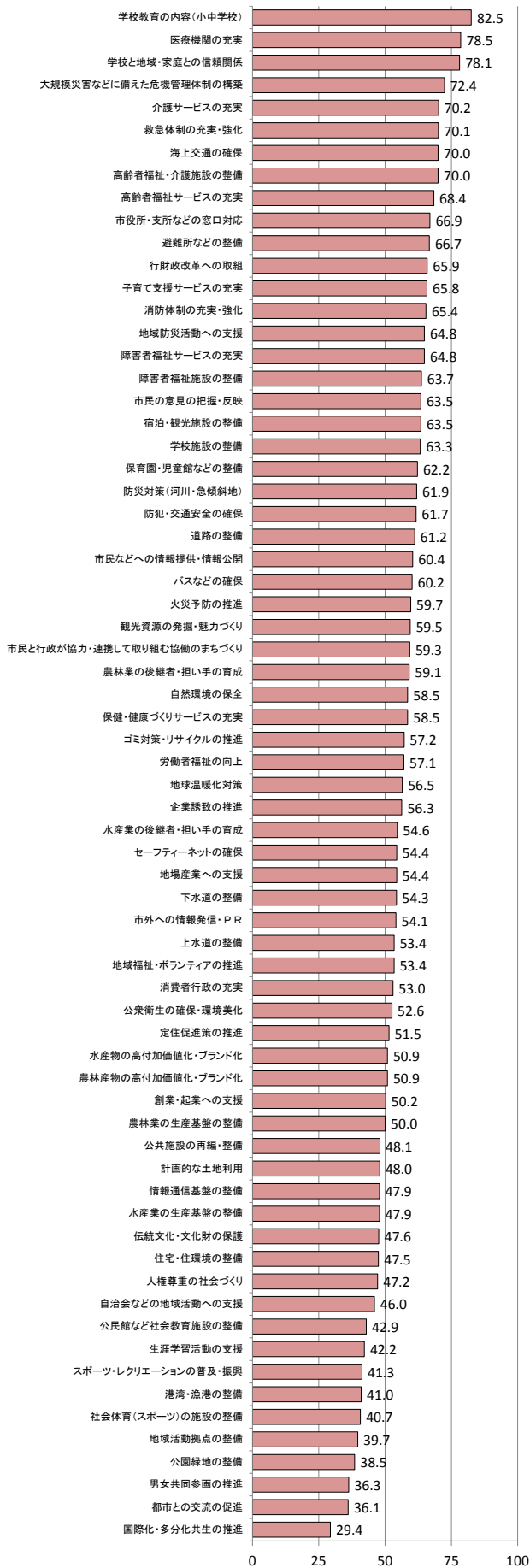
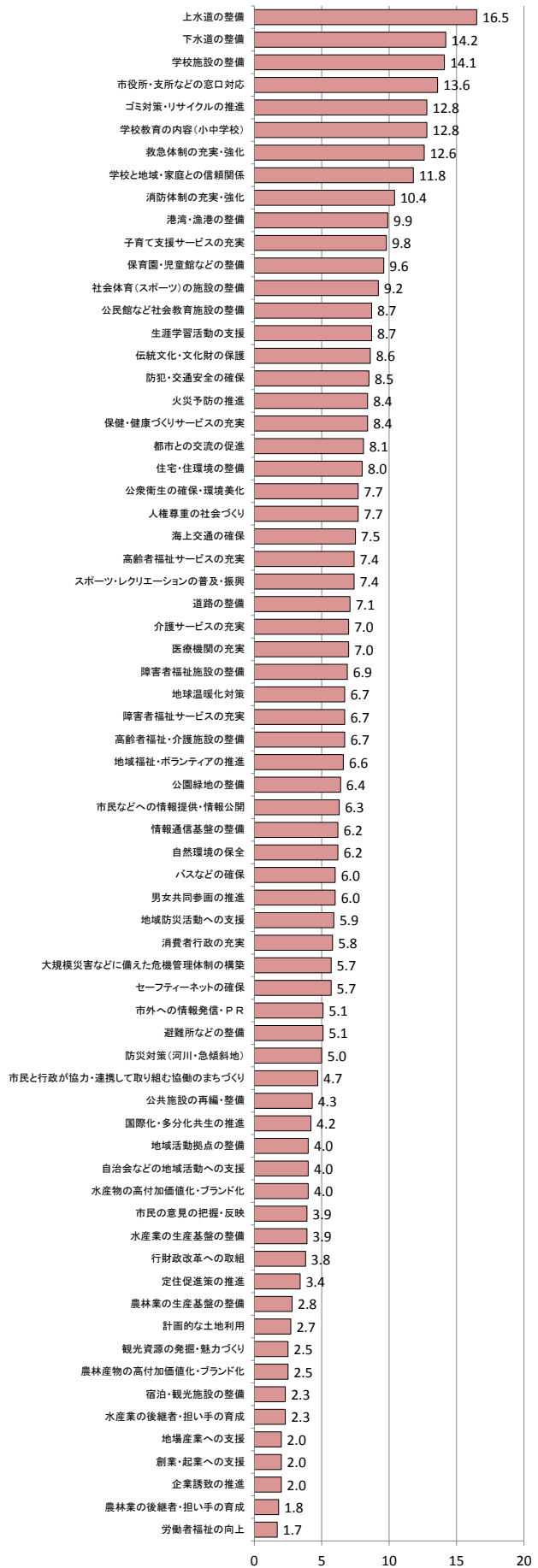
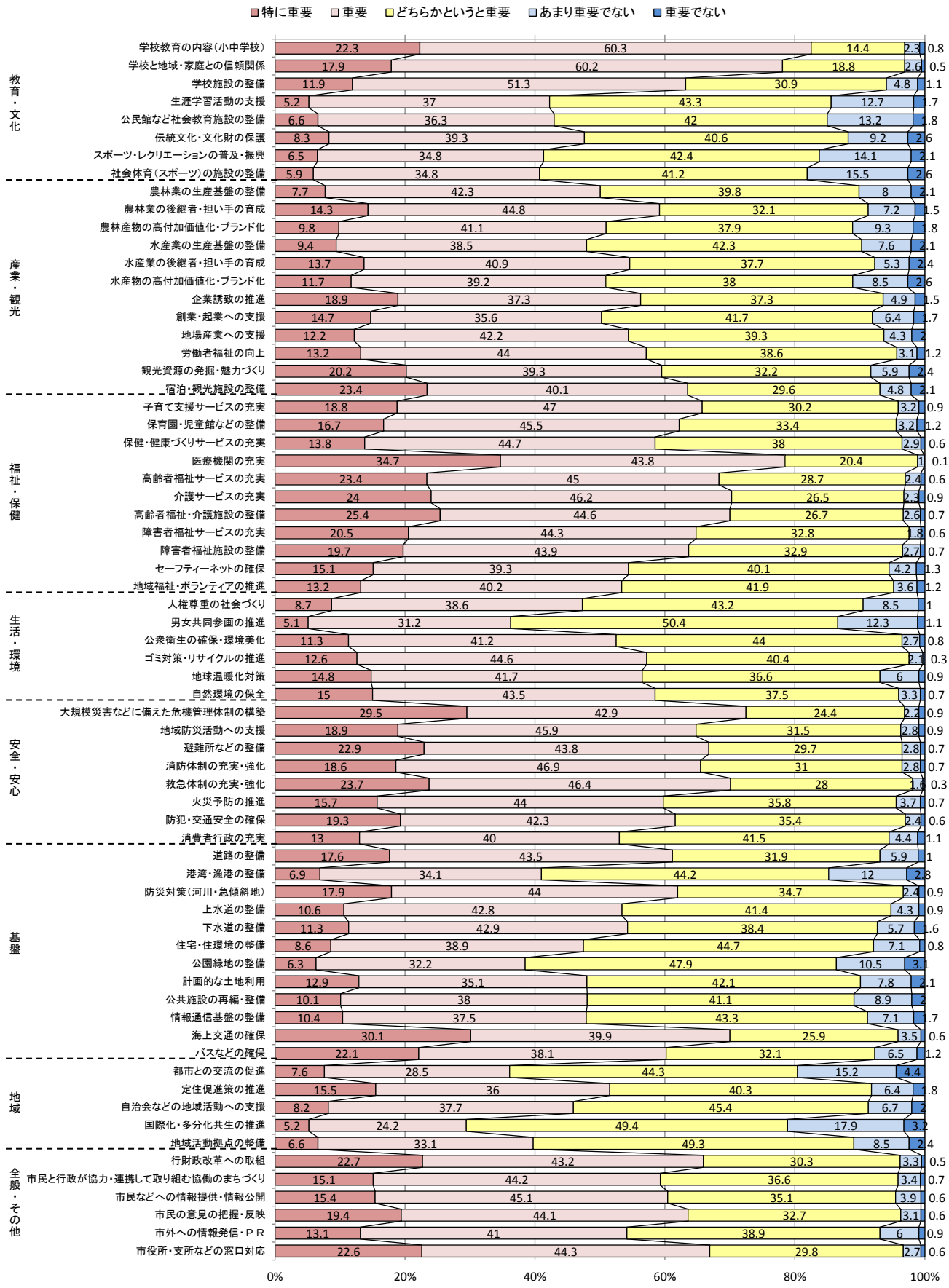


図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての現在の満足度 (とても満足+満足)



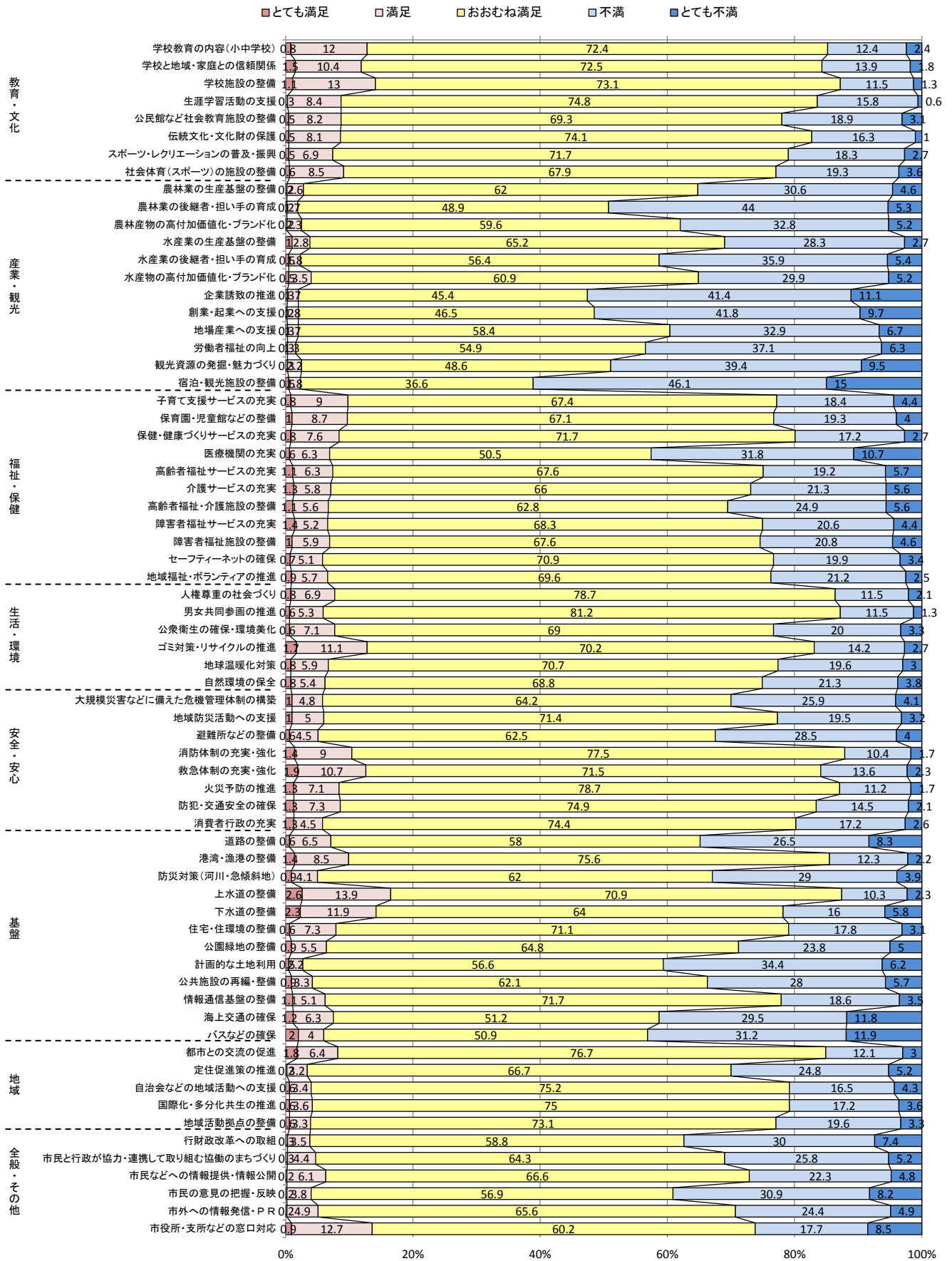
注：無回答を除く割合

参考図 江田島市や地域・地区の現状，市の取組についての今後の重要度・・・部門別



注：無回答を除く割合

参考図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての現在の満足度・・・部門別



注：無回答を除く割合

2 江田島市や地域・地区の現状，市の取組の評価

ここでは，市民アンケート調査により，重要度（市民重要度）と満足度（市民満足度）について，測定可能な定量（数値：ポイント・点）を算出することで，部門別，項目別の評価を行います。

回答1件当たりに次のとおり配点し，その合計値÷有効回答数を「ポイント・点」とします。

注：無回答の調査票はポイント算出の対象としない

重要度ポイント (市民重要度)	特に重要	100点
	重要	80点
	どちらかという重要	60点
	あまり重要でない	40点
	重要でない	20点

満足度ポイント (市民満足度)	とても満足	100点
	満足	80点
	おおむね満足	60点
	不満	40点
	とても不満	20点

(1) 重要度ポイント，満足度ポイント

江田島市や地域・地区の現状，市の取組における重要度ポイントとしては，「医療機関の充実」82.4点と「学校教育の内容（小中学校）」80.2点の2項目が80点を超えており，次いで「大規模災害等に備えた危機管理体制の構築」79.6点，「海上交通の確保・充実」79.1点，「学校と地域・家庭との信頼関係」78.5点などとなっています。

その他，「高齢者福祉・介護施設の整備」78.3点，「救急体制の充実・強化」78.3点，「介護サービスの充実」78.0点，「高齢者福祉サービスの充実」77.6点などとなっており，教育・文化，福祉・保健，安全・安心などに関する重要度が高いと言えます。

一方で，「国際化・多文化共生の推進」62.1点，「都市との交流の促進」63.9点，「社会体育(スポーツ)の施設の整備」65.2点，「男女共同参画の推進」65.4点となっており，他の項目に比べると重要度は低くなっています。

江田島市や地域・地区の現状，市の取組における満足度ポイントとしては，「上水道の整備」が60.9点で最も高く，次いで「学校施設の整備」が60.2点で，この2項目が60点を超えています。その他，「消防体制の充実・強化」59.6点，「学校教育の内容（小中学校）」59.3点，「救急体制の充実・強化」59.3点，「学校と地域・家庭との信頼関係」59.2点などとなっています。

一方で，「宿泊・観光施設の整備」が45.3点で最も低く，次いで「企業誘致の推進」47.7点，「創業・起業への支援」48.2点，「観光資源の発掘・魅力づくり」48.9点，「農林業の後継者・担い手の育成」49.5点が50点を下回っており，いずれも産業・観光の部門で満足度の低い項目がみられます。

図 江田島市における重要度ポイント

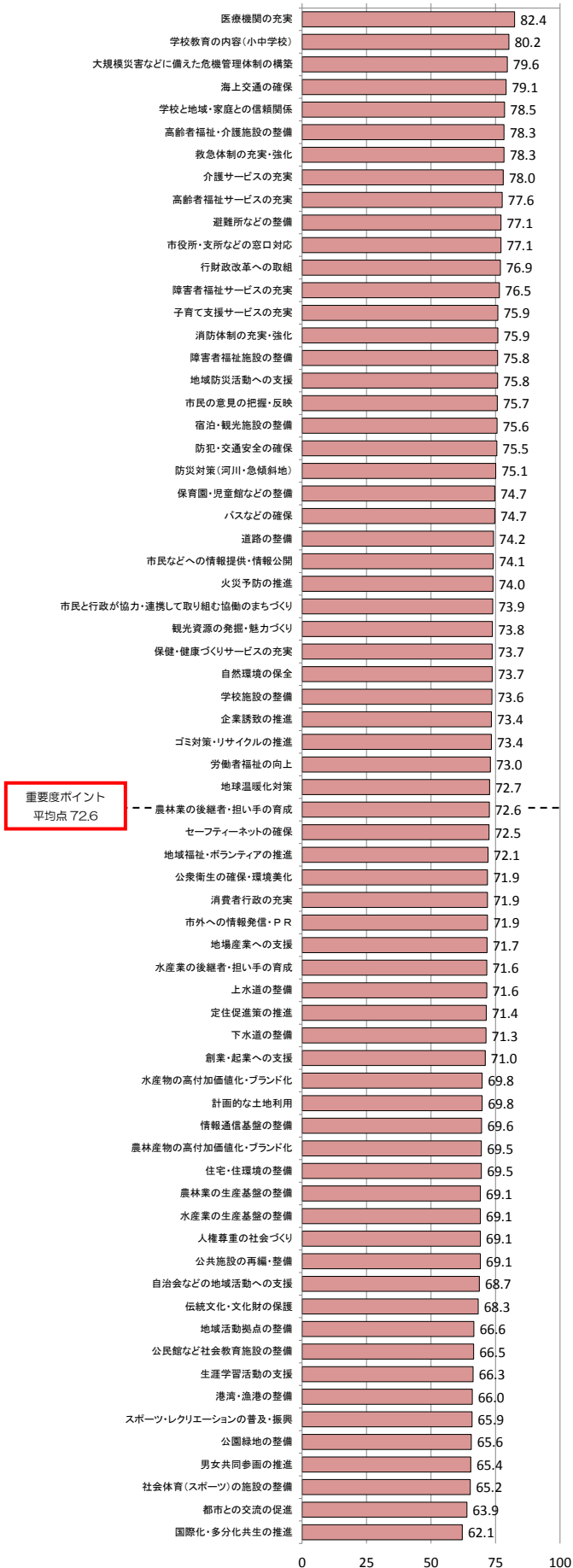
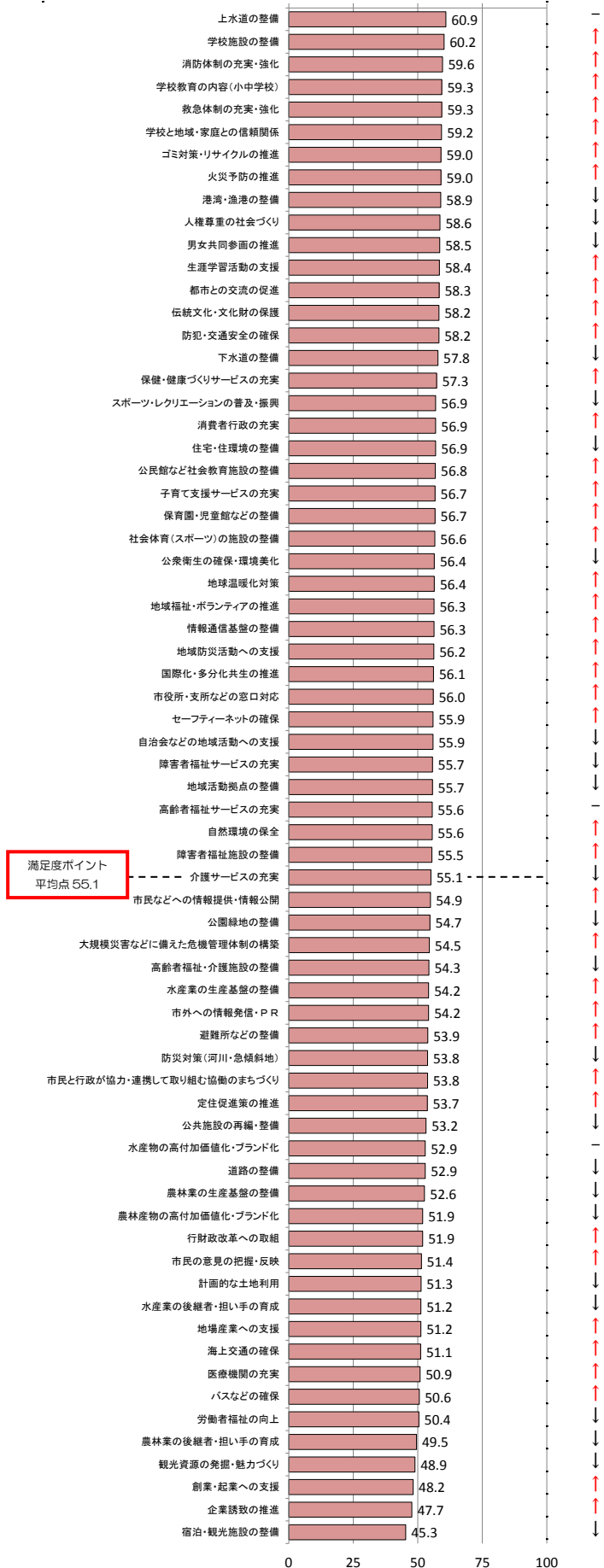
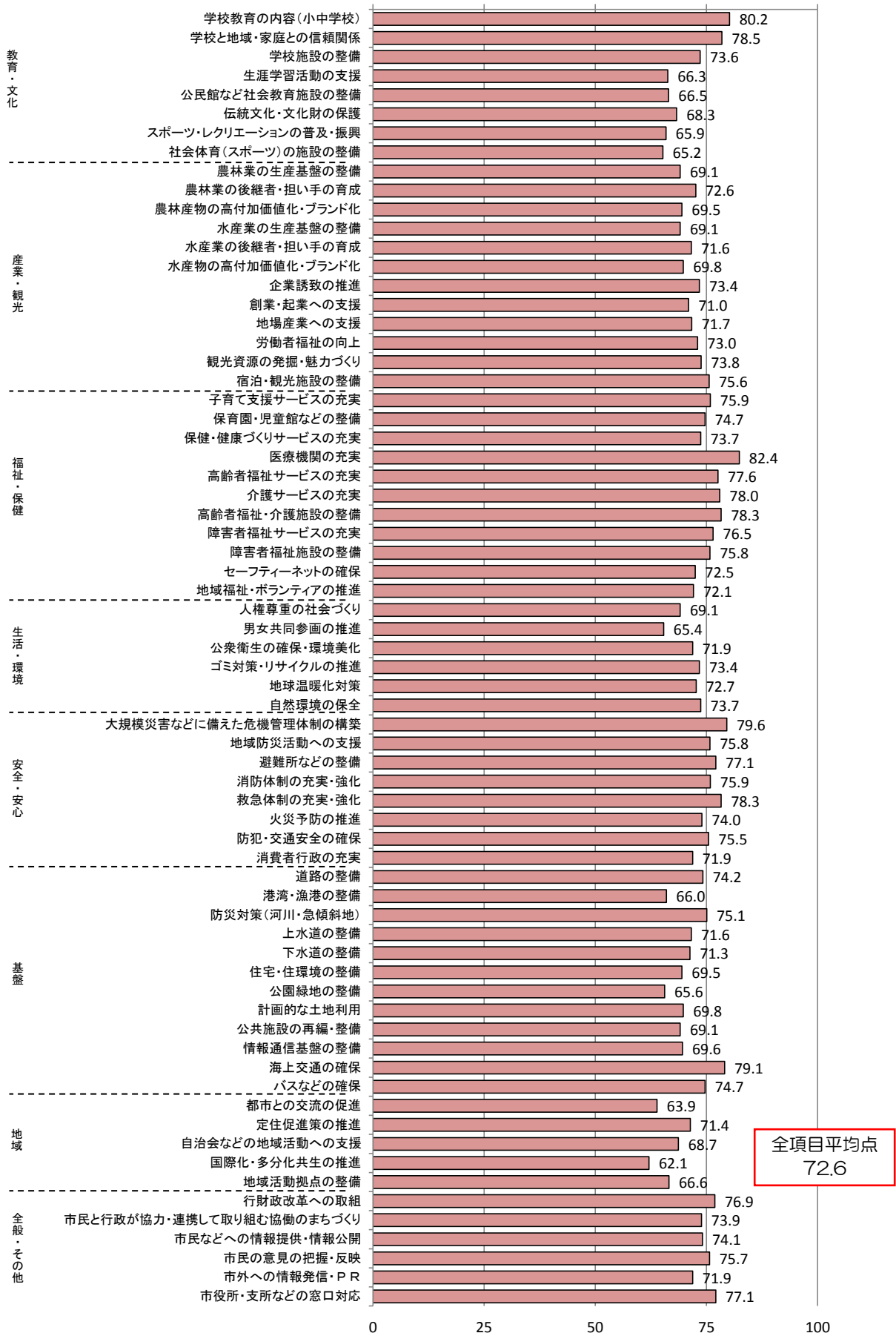


図 江田島市における満足度ポイント

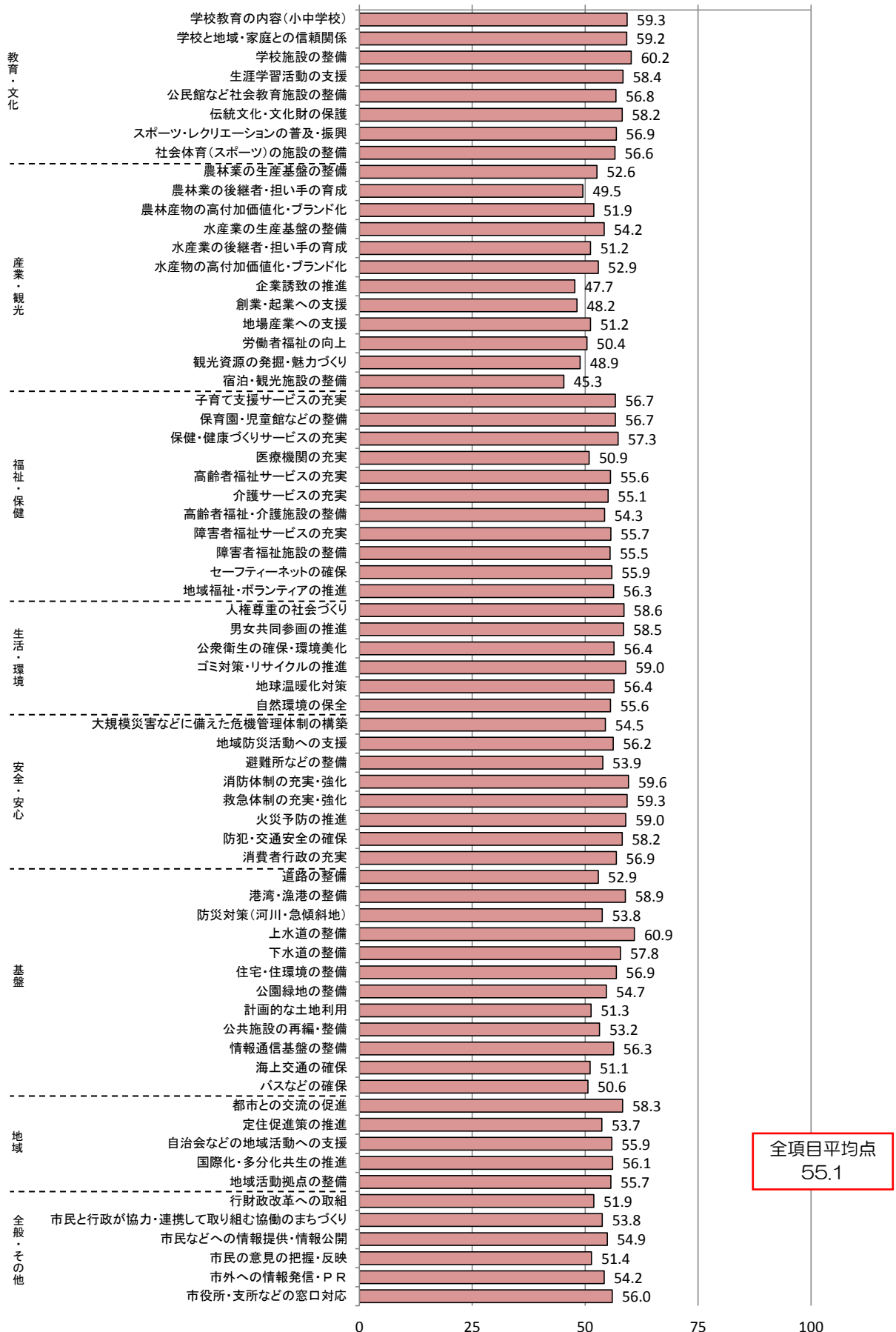


昨年度調査との比較(増減状況)

参考図 江田島市における重要度ポイント（市民重要度）・・・部門別



参考図 江田島市における満足度ポイント（市民満足度）・・・部門別



重要度ポイント、満足度ポイントを前回調査（平成26年度）と比較すると、重要度ポイントの変化量が増加したものでは、「セーフティーネットの確保」と「防災対策（河川・急傾斜地）」が1.3点で1位となっています。

一方、変化量が減少したものでは、「都市との交流の促進」6.1点が最も大きく、それに「観光資源の発掘・魅力づくり」2.3点、「市民と行政が協力・連携して取り組む協働のまちづくり」2.2点と続いています。

表 重要度ポイントの変化量 (点)

順位	項目（設問）		変化量	平成26年	平成27年
1	福祉・保健	セーフティーネットの確保	1.3	71.2	72.5
	基盤	防災対策（河川・急傾斜地）	1.3	73.8	75.1
3	生活・環境	人権尊重の社会づくり	1.1	68.0	69.1
	基盤	上水道の整備	1.1	70.5	71.6
	基盤	住宅・住環境の整備	1.1	68.4	69.5
	全般・その他	市役所・支所などの窓口対応	1.1	76.0	77.1
64	産業・観光	地場産業への支援	▲2.0	73.7	71.7
65	教育・文化	学校と地域・家庭との信頼関係	▲2.1	80.6	78.5
66	全般・その他	市民と行政が協力・連携して取り組む協働のまちづくり	▲2.2	76.1	73.9
67	産業・観光	観光資源の発掘・魅力づくり	▲2.3	76.1	73.8
68	地域	都市との交流の促進	▲6.1	70.0	63.9

満足度ポイントの変化量では、増加した項目は「都市との交流の促進」4.4点、「定住促進策の推進」2.2点、「市民と行政が協力・連携して取り組む協働のまちづくり」1.9点などとなっています。

一方、減少した項目では変化量が1点未満と小さく、「防災対策（河川・急傾斜地）」0.9点、「宿泊・観光施設の整備」0.8点などとなっています。

表 満足度ポイントの変化量 (点)

順位	項目（設問）		変化量	平成26年	平成27年
1	地域	都市との交流の促進	4.4	53.9	58.3
2	地域	定住促進策の推進	2.2	51.5	53.7
3	全般・その他	市民と行政が協力・連携して取り組む協働のまちづくり	1.9	51.9	53.8
4	基盤	海上交通の確保	1.8	49.3	51.1
5	全般・その他	市民などへの情報提供・情報公開	1.7	53.2	54.9
62	産業・観光	農林業の後継者・担い手の育成	▲0.5	50.0	49.5
	福祉・保健	介護サービスの充実	▲0.5	55.6	55.1
	基盤	下水道の整備	▲0.5	58.3	57.8
	基盤	公園緑地の整備	▲0.5	55.2	54.7
66	生活・環境	人権尊重の社会づくり	▲0.6	59.2	58.6
67	産業・観光	宿泊・観光施設の整備	▲0.8	46.1	45.3
68	基盤	防災対策（河川・急傾斜地）	▲0.9	54.7	53.8

表 市民満足度調査（平成26年度，27年度）による重要度ポイント，満足度ポイントの変化状況

部門	項目(設問)	平成26年度 重要度 ポイント	平成27年度 重要度 ポイント	変化量	平成26年度 満足度 ポイント	平成27年度 満足度 ポイント	変化量
教育・文化	問2-1 学校教育の内容(小中学校)	81.9	80.2	▲ 1.7	58.8	59.3	0.5
	問2-2 学校と地域・家庭との信頼関係	80.6	78.5	▲ 2.1	58.5	59.2	0.7
	問2-3 学校施設の整備	73.8	73.6	▲ 0.2	60.1	60.2	0.1
	問2-4 生涯学習活動の支援	68.0	66.3	▲ 1.7	57.9	58.4	0.5
	問2-5 公民館など社会教育施設の整備	66.9	66.5	▲ 0.4	56.4	56.8	0.4
	問2-6 伝統文化・文化財の保護	69.0	68.3	▲ 0.7	57.3	58.2	0.9
	問2-7 スポーツ・レクリエーションの普及・振興	66.8	65.9	▲ 0.9	57.0	56.9	▲ 0.1
	問2-8 社会体育(スポーツ)の施設の整備	65.0	65.2	0.2	56.2	56.6	0.4
産業・観光	問2-9 農林業の生産基盤の整備	69.7	69.1	▲ 0.6	52.8	52.6	▲ 0.2
	問2-10 農林業の後継者・担い手の育成	74.0	72.6	▲ 1.4	50.0	49.5	▲ 0.5
	問2-11 農林産物の高付加価値化・ブランド化	70.5	69.5	▲ 1.0	52.2	51.9	▲ 0.3
	問2-12 水産業の生産基盤の整備	69.8	69.1	▲ 0.7	54.0	54.2	0.2
	問2-13 水産業の後継者・担い手の育成	72.6	71.6	▲ 1.0	51.5	51.2	▲ 0.3
	問2-14 水産物の高付加価値化・ブランド化	70.1	69.8	▲ 0.3	52.9	52.9	0.0
	問2-15 企業誘致の推進	74.1	73.4	▲ 0.7	47.2	47.7	0.5
	問2-16 創業・起業への支援	72.8	71.0	▲ 1.8	47.5	48.2	0.7
	問2-17 地場産業への支援	73.7	71.7	▲ 2.0	50.7	51.2	0.5
	問2-18 労働者福祉の向上	74.6	73.0	▲ 1.6	50.5	50.4	▲ 0.1
	問2-19 観光資源の発掘・魅力づくり	76.1	73.8	▲ 2.3	49.2	48.9	▲ 0.3
	問2-20 宿泊・観光施設の整備	76.0	75.6	▲ 0.4	46.1	45.3	▲ 0.8
福祉・保健	問2-21 子育て支援サービスの充実	77.4	75.9	▲ 1.5	55.5	56.7	1.2
	問2-22 保育園・児童館などの整備	75.0	74.7	▲ 0.3	56.0	56.7	0.7
	問2-23 保健・健康づくりサービスの充実	74.0	73.7	▲ 0.3	56.7	57.3	0.6
	問2-24 医療機関の充実	83.1	82.4	▲ 0.7	50.3	50.9	0.6
	問2-25 高齢者福祉サービスの充実	78.1	77.6	▲ 0.5	55.6	55.6	0.0
	問2-26 介護サービスの充実	78.5	78.0	▲ 0.5	55.6	55.1	▲ 0.5
	問2-27 高齢者福祉・介護施設の整備	78.9	78.3	▲ 0.6	54.5	54.3	▲ 0.2
	問2-28 障害者福祉サービスの充実	75.8	76.5	0.7	55.8	55.7	▲ 0.1
	問2-29 障害者福祉施設の整備	75.5	75.8	0.3	55.1	55.5	0.4
	問2-30 セーフティネットの確保	71.2	72.5	1.3	55.1	55.9	0.8
	問2-31 地域福祉・ボランティアの推進	72.7	72.1	▲ 0.6	55.8	56.3	0.5
生活・環境	問2-32 人権尊重の社会づくり	68.0	69.1	1.1	59.2	58.6	▲ 0.6
	問2-33 男女共同参画の推進	65.0	65.4	0.4	58.8	58.5	▲ 0.3
	問2-34 公衆衛生の確保・環境美化	71.1	71.9	0.8	56.8	56.4	▲ 0.4
	問2-35 ゴミ対策・リサイクルの推進	73.6	73.4	▲ 0.2	58.7	59.0	0.3
	問2-36 地球温暖化対策	72.6	72.7	0.1	54.8	56.4	1.6
	問2-37 自然環境の保全	74.1	73.7	▲ 0.4	55.1	55.6	0.5
	問2-38 大規模災害などに備えた危機管理体制の構築	79.6	79.6	0.0	53.8	54.5	0.7
安全・安心	問2-39 地域防災活動への支援	75.9	75.8	▲ 0.1	55.6	56.2	0.6
	問2-40 避難所などの整備	76.8	77.1	0.3	53.1	53.9	0.8
	問2-41 消防体制の充実・強化	75.7	75.9	0.2	58.9	59.6	0.7
	問2-42 救急体制の充実・強化	78.3	78.3	0.0	58.0	59.3	1.3
	問2-43 火災予防の推進	74.9	74.0	▲ 0.9	58.5	59.0	0.5
	問2-44 防犯・交通安全の確保	76.1	75.5	▲ 0.6	56.8	58.2	1.4
	問2-45 消費者行政の充実	71.5	71.9	0.4	55.8	56.9	1.1
	問2-46 道路の整備	73.4	74.2	0.8	53.0	52.9	▲ 0.1
基盤	問2-47 港湾・漁港の整備	66.0	66.0	0.0	59.2	58.9	▲ 0.3
	問2-48 防災対策(河川・急傾斜地)	73.8	75.1	1.3	54.7	53.8	▲ 0.9
	問2-49 上水道の整備	70.5	71.6	1.1	60.9	60.9	0.0
	問2-50 下水道の整備	70.3	71.3	1.0	58.3	57.8	▲ 0.5
	問2-51 住宅・住環境の整備	68.4	69.5	1.1	57.2	56.9	▲ 0.3
	問2-52 公園緑地の整備	65.7	65.6	▲ 0.1	55.2	54.7	▲ 0.5
	問2-53 計画的な土地利用	69.8	69.8	0.0	51.4	51.3	▲ 0.1
	問2-54 公共施設の再編・整備	69.6	69.1	▲ 0.5	53.6	53.2	▲ 0.4
	問2-55 情報通信基盤の整備	70.3	69.6	▲ 0.7	56.1	56.3	0.2
	問2-56 海上交通の確保	80.4	79.1	▲ 1.3	49.3	51.1	1.8
	問2-57 バスなどの確保	76.2	74.7	▲ 1.5	49.6	50.6	1.0
地域	問2-58 都市との交流の促進	70.0	63.9	▲ 6.1	53.9	58.3	4.4
	問2-59 定住促進策の推進	73.2	71.4	▲ 1.8	51.5	53.7	2.2
	問2-60 自治会などの地域活動への支援	68.4	68.7	0.3	56.3	55.9	▲ 0.4
	問2-61 国際化・多分化共生の推進	63.1	62.1	▲ 1.0	56.0	56.1	0.1
全般・その他	問2-62 地域活動拠点の整備	66.7	66.6	▲ 0.1	56.1	55.7	▲ 0.4
	問2-63 行財政改革への取組	77.1	76.9	▲ 0.2	50.6	51.9	1.3
	問2-64 市民と行政が協力・連携して取り組む協働のまちづくり	76.1	73.9	▲ 2.2	51.9	53.8	1.9
	問2-65 市民などへの情報提供・情報公開	75.3	74.1	▲ 1.2	53.2	54.9	1.7
	問2-66 市民の意見の把握・反映	77.0	75.7	▲ 1.3	49.8	51.4	1.6
	問2-67 市外への情報発信・PR	73.8	71.9	▲ 1.9	53.3	54.2	0.9
	問2-68 市役所・支所などの窓口対応	76.0	77.1	1.1	55.6	56.0	0.4

(2) 部門ごとでの重要度ポイント，満足度ポイントの状況

重要度ポイントについて部門ごとにみると、「福祉・保健」が76.2点で最も高く、次いで「安全・安心」76.0点、「全般・その他」74.9点となっており、これら3部門が全項目平均値（72.6点）を上回っています。

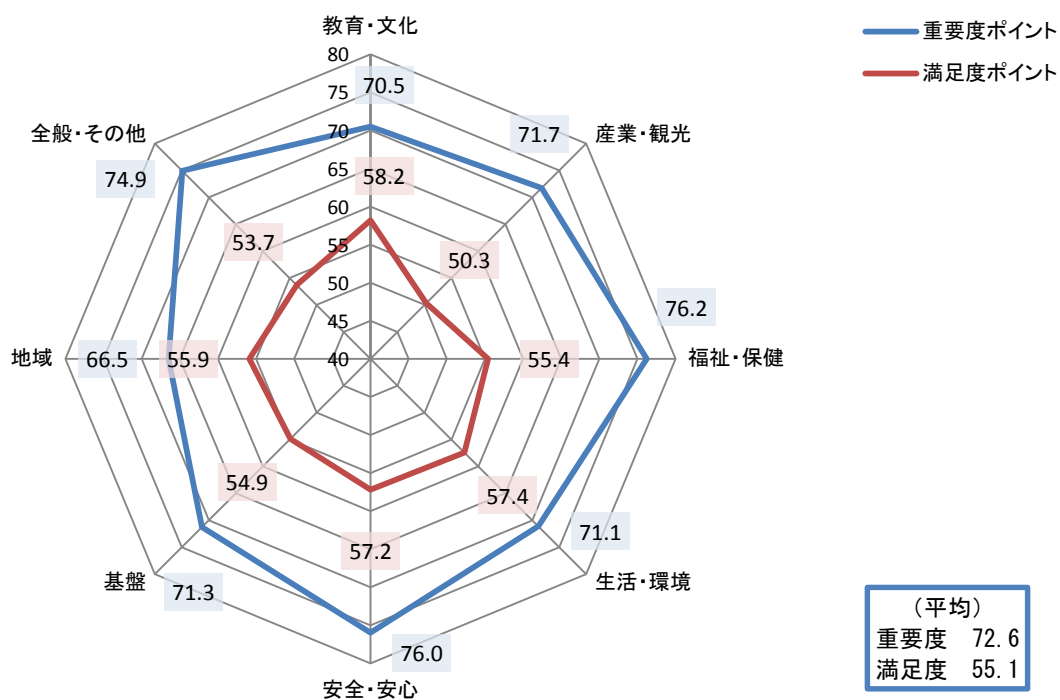
満足度ポイントについては、「教育・文化」が58.2点で最も高く、次いで「生活・環境」57.4点などとなっています。

重要度ポイントと満足度ポイント両方が平均値を上回っている部門は、「福祉・保健」と「安全・安心」であり、現状の満足度が高く、また今後においても市民が重要であると捉えていることが考えられます。逆に両方が平均値を下回っている部門は、「産業・観光」と「基盤」となっています。

一方、満足度が平均値より低く重要度が平均値より高い「全般・その他」については、今後伸ばしていくべき部門として捉えられていると考えられます。

また居住地区別（次頁参照）にみても、概ね同様の傾向となっていますが、沖美町では重要度ポイントの平均値が他の町に比べ2点近く高く、部門別では「安全・安心」の重要度ポイントが79.0点と最も高くなっています。

図 部門別の重要度ポイント，満足度ポイント



参考：居住地別部門別ポイント状況

図 江田島町

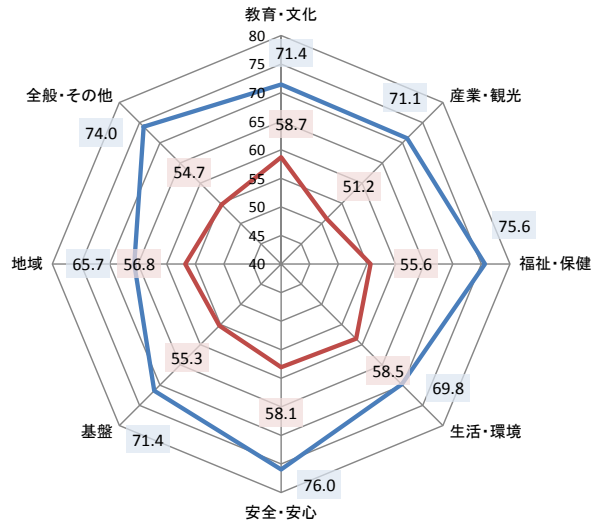


図 能美町

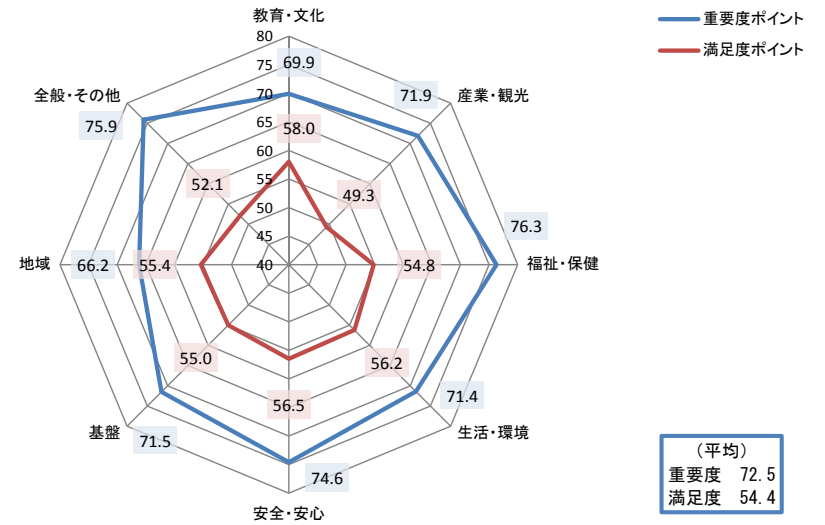


図 沖美町

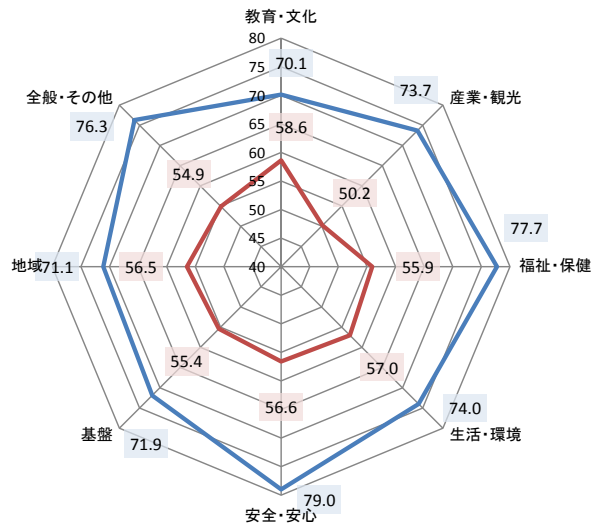
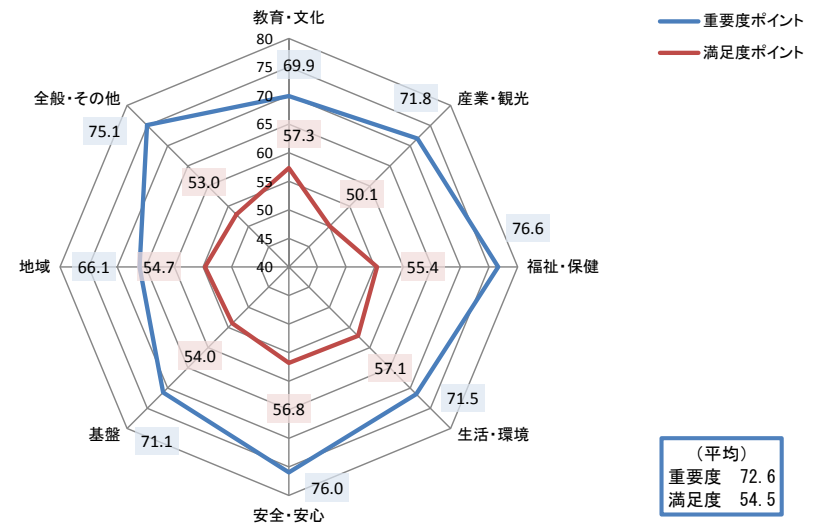


図 大柿町



(3) 部門別の重要度ポイント，満足度ポイントの状況

ア 教育・文化

教育・文化部門の項目別にみると、「学校教育の内容（小中学校）」，「学校と地域・家庭との信頼関係」については，満足度ポイントが平均値を超えるとともに重要度ポイントがそれぞれ80.2点，78.5点と非常に高く，今後も重要であると捉えられていると言えます。

図 教育・文化部門のポイント状況

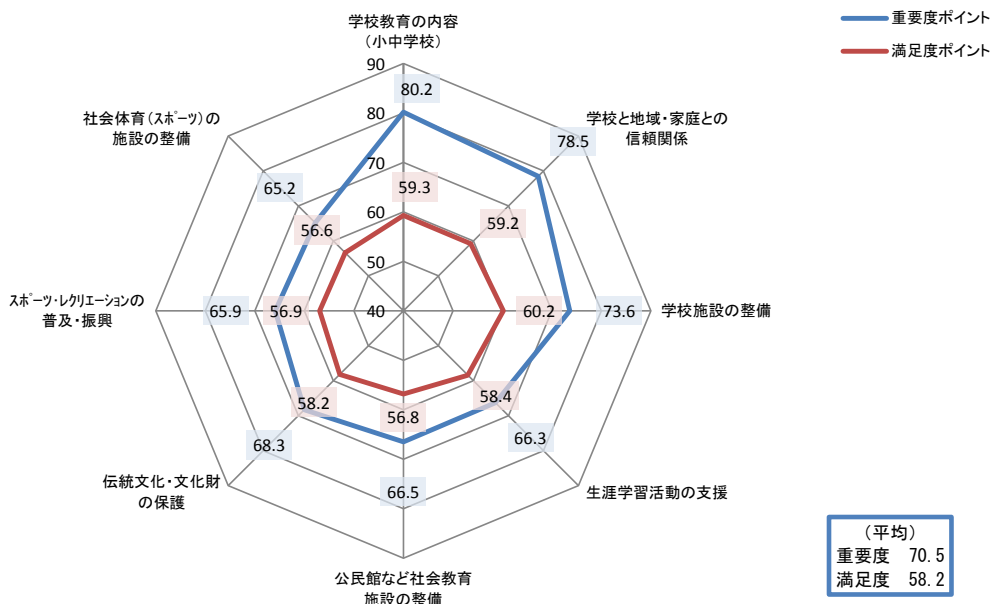


図 江田島町

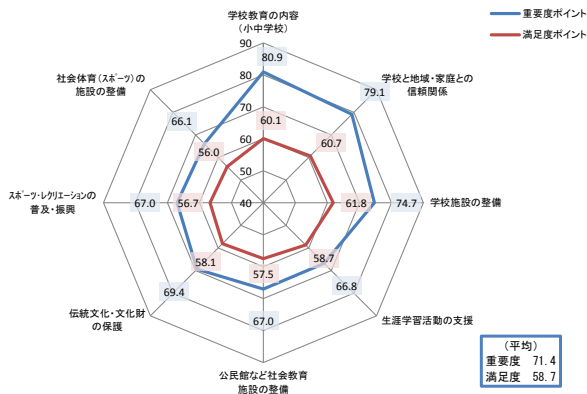


図 能美町

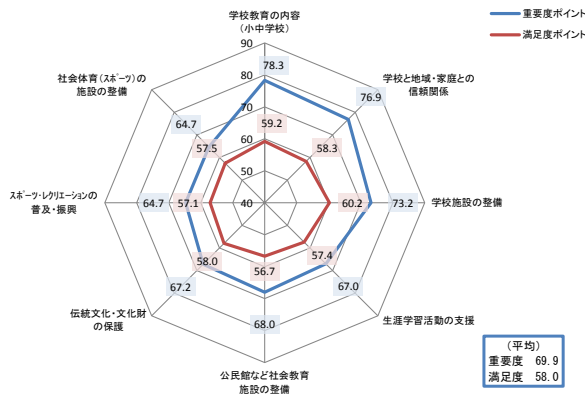


図 沖美町

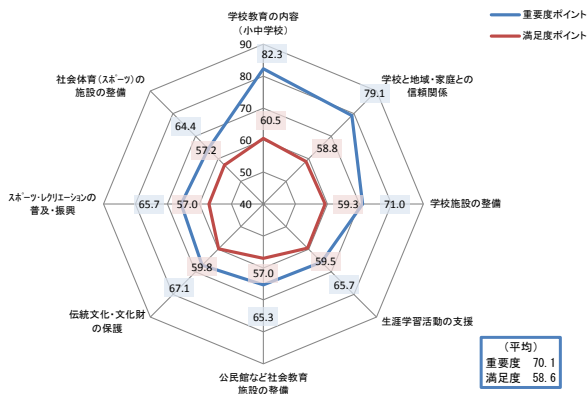
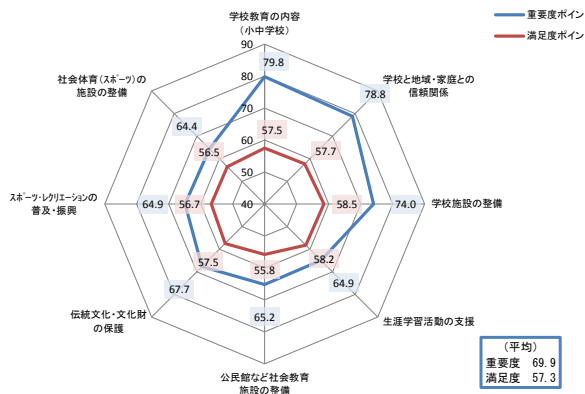


図 大柿町



イ 産業・観光

産業・観光部門の項目別にみると、全体的に満足度ポイントが低くなっており、重要度ポイントとの乖離が大きくなっています。特に乖離が25点を超える「宿泊・観光施設の整備」と「企業誘致の推進」については、市民が現状に対して特に重要な項目として考えていることが示されています。

図 産業・観光部門のポイント状況

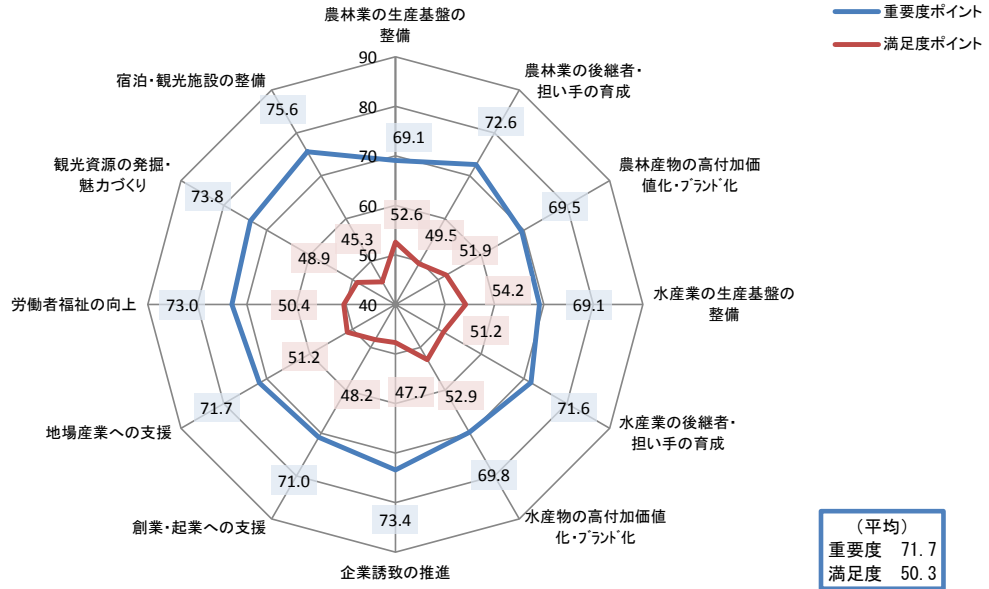


図 江田島町

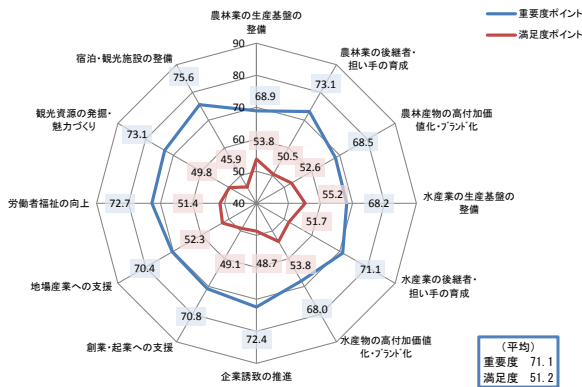


図 能美町

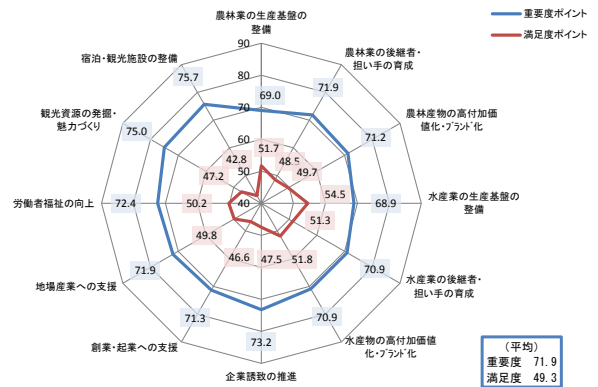


図 沖美町

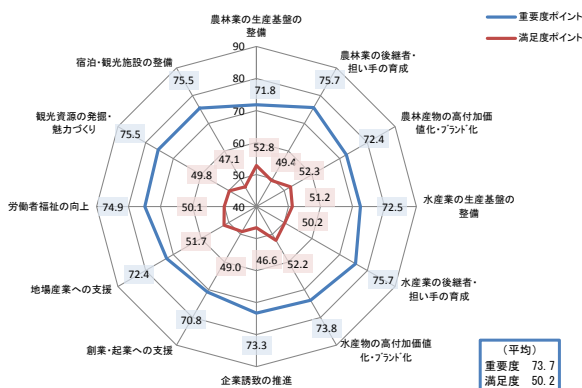
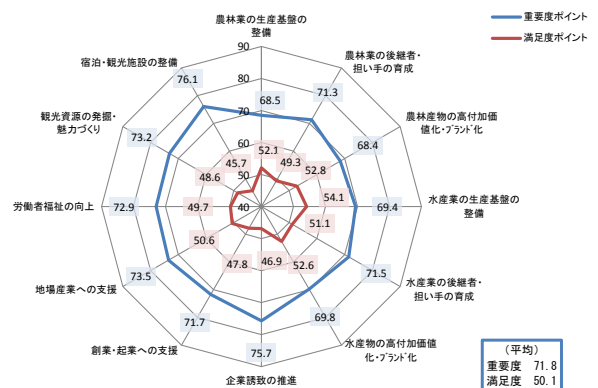


図 大柿町



ウ 福祉・保健

福祉・保健部門の項目別にみると、全体的に重要度ポイントは高くなっています。特に「医療機関の充実」は82.4点と最も高く、また満足度ポイントとの乖離も31.5点と大きくなっています。

図 福祉・保健部門のポイント状況

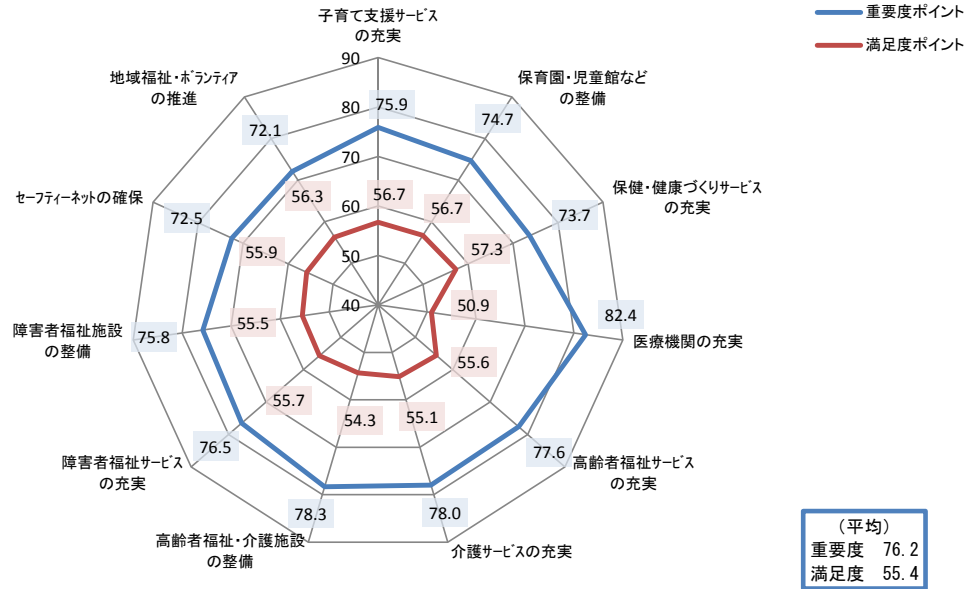


図 江田島町

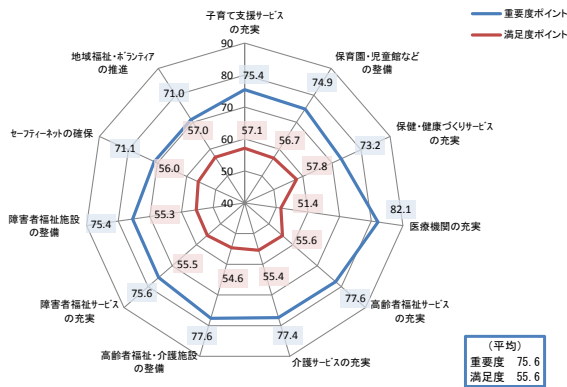


図 能美町

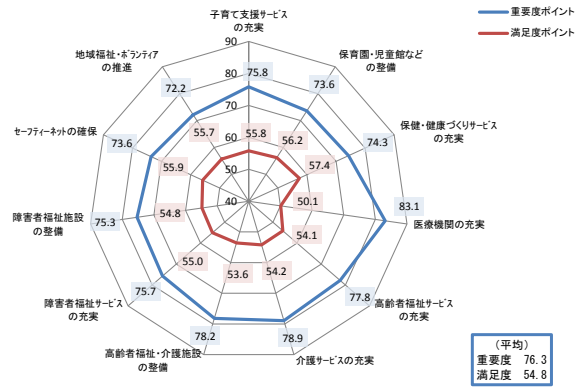


図 沖美町

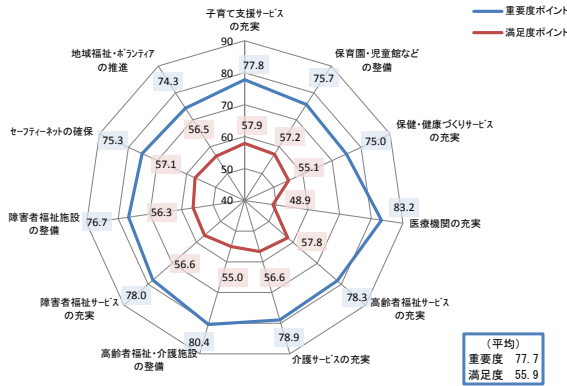
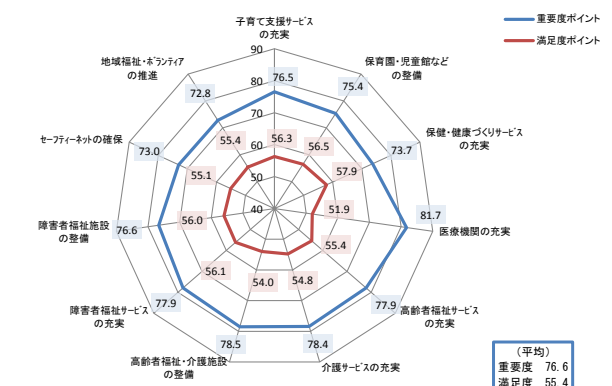


図 大柿町



エ 生活・環境

生活・環境部門の項目別にみると、「自然環境の保全」、「ゴミ対策・リサイクルの推進」など環境系の項目で重要度ポイントが高くなっています。

一方で、「人権尊重の社会づくり」、「男女共同参画の推進」は満足度ポイントと重要度ポイントの乖離が小さいなど、環境系と生活系で差が見られます。

図 生活・環境部門のポイント状況

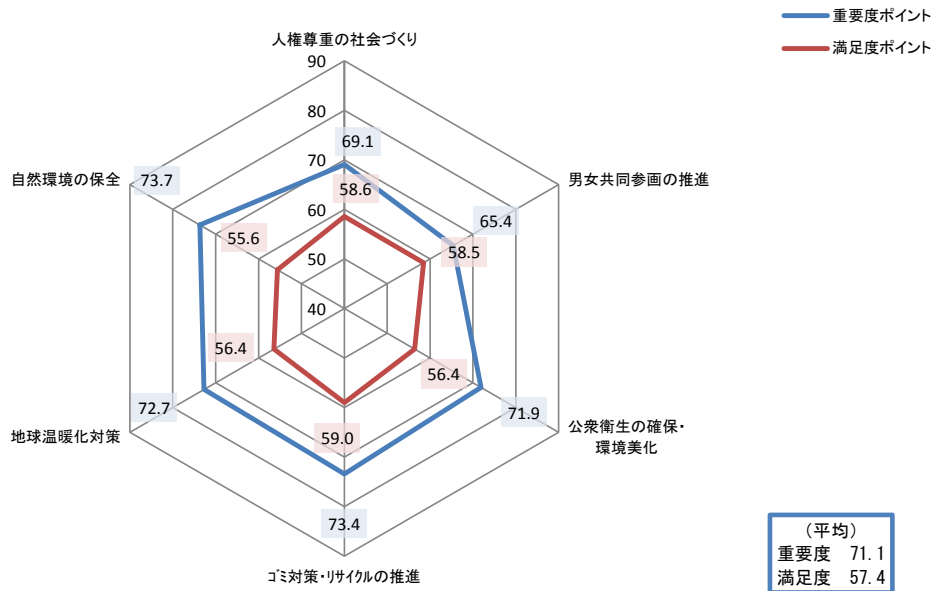


図 江田島町

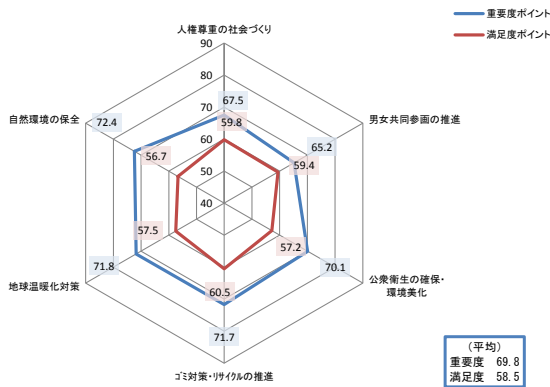


図 能美町

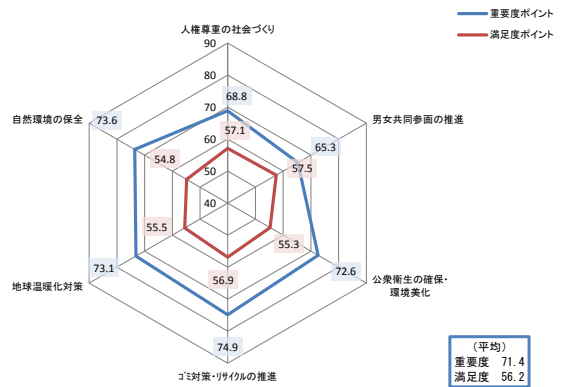


図 沖美町

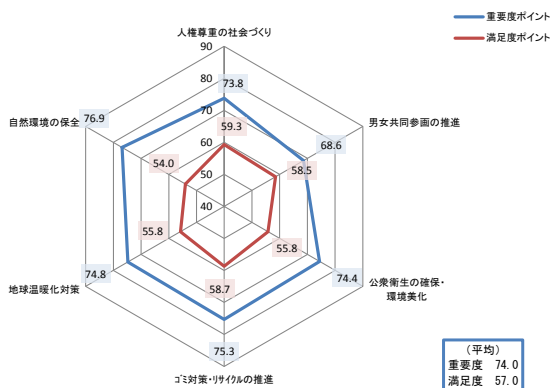
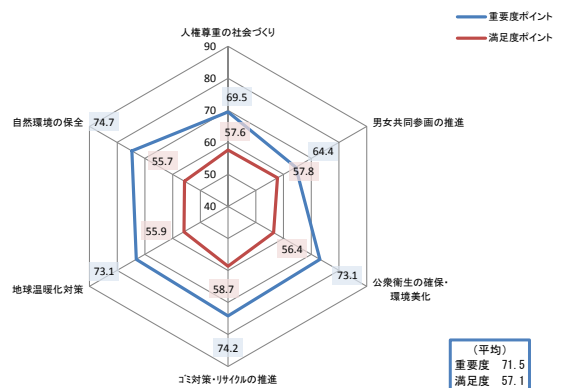


図 大柿町



オ 安全・安心

安全・安心部門の項目別にみると、「大規模災害等に備えた危機管理体制の構築」, 「救急体制の充実・強化」, 「避難所等の整備」などで重要度ポイントが平均値を上回っています。

特に「大規模災害等に備えた危機管理体制の構築」では満足度ポイントが54.5点と低くなっている一方で, 重要度ポイントが79.6点と最も高くなっており, 乖離も25.1点と大きくなっています。

図 安全・安心部門のポイント状況

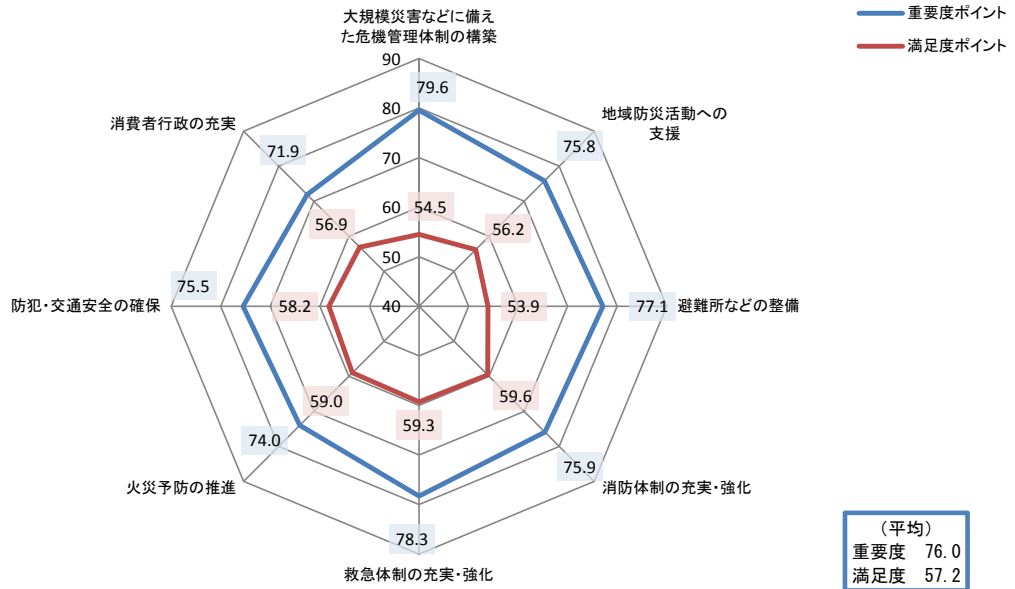


図 江田島町

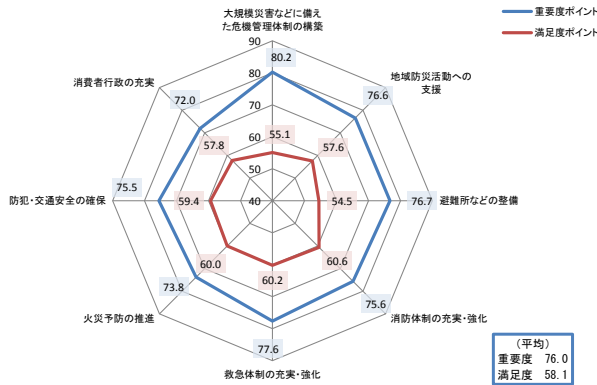


図 能美町

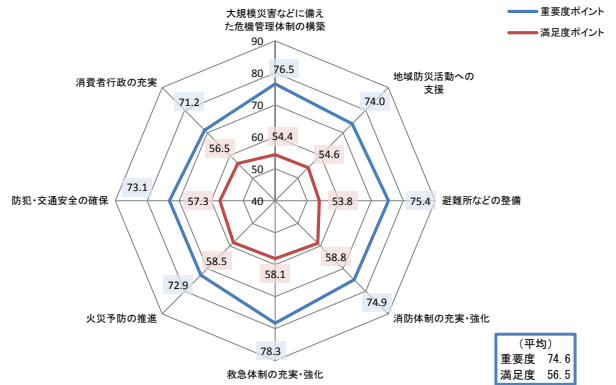


図 沖美町

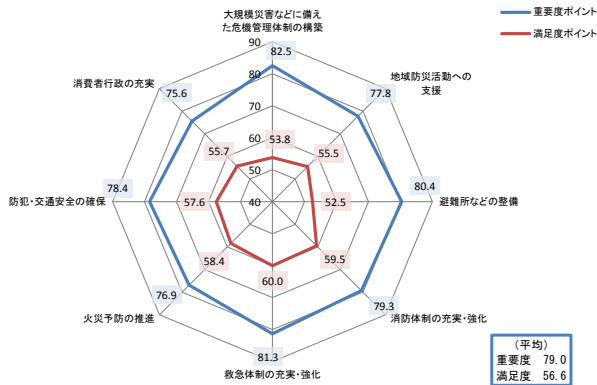
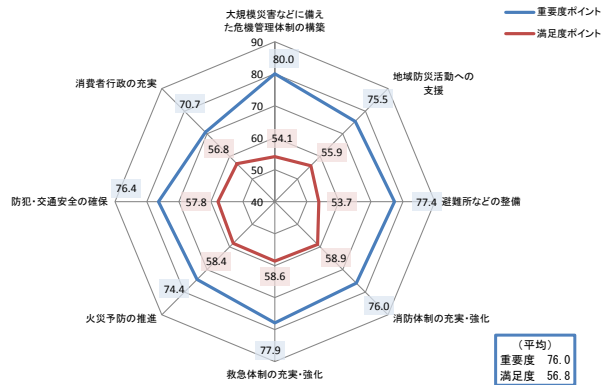


図 大柿町



カ 基盤

基盤部門の項目別にみると、「バスなどの確保」と「海上交通の確保」の満足度ポイントが最低値から1位・2位と低いにもかかわらず、重要度ポイントが高い状況にあり、「道路の整備」も含めた交通系で乖離が大きくなっています。一方、「港湾・漁港の整備」や「公園緑地の整備」は重要度ポイントが比較的安く、満足度ポイントとの乖離も小さくなっています。

図 基盤部門のポイント状況

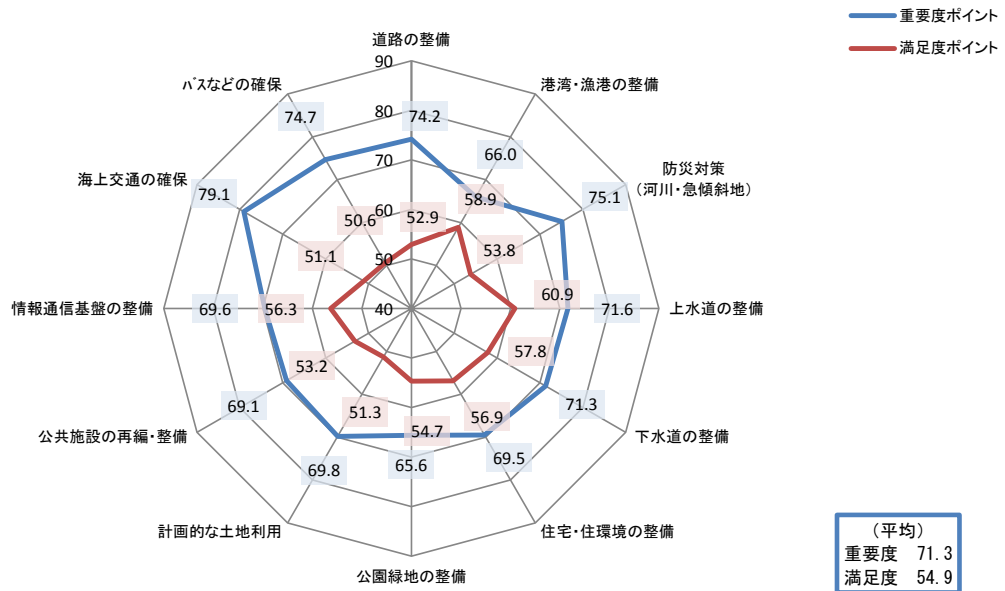


図 江田島町

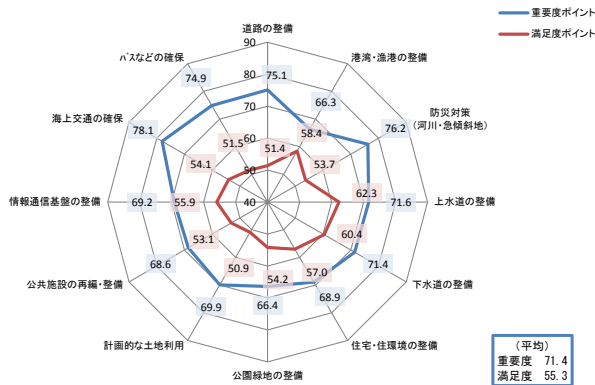


図 能美町

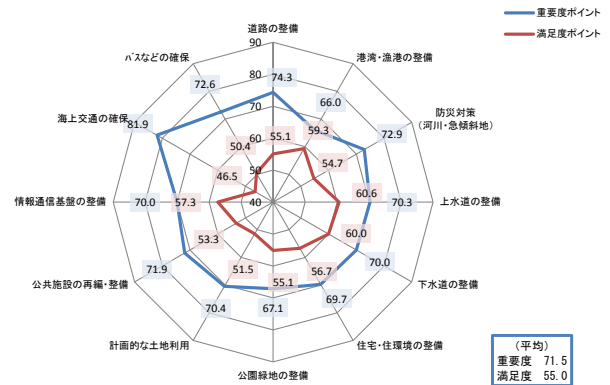


図 沖美町

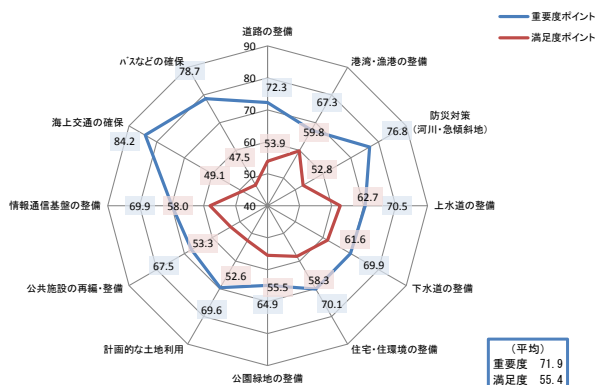
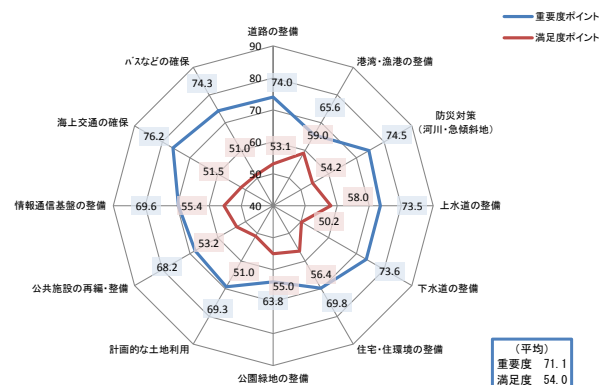


図 大柿町



キ 地域

地域部門の項目別にみると、重要度ポイントが比較的低い項目が多くなっていますが、その中で「定住促進策の推進」が71.4点と高くなっています。

図 地域部門のポイント状況

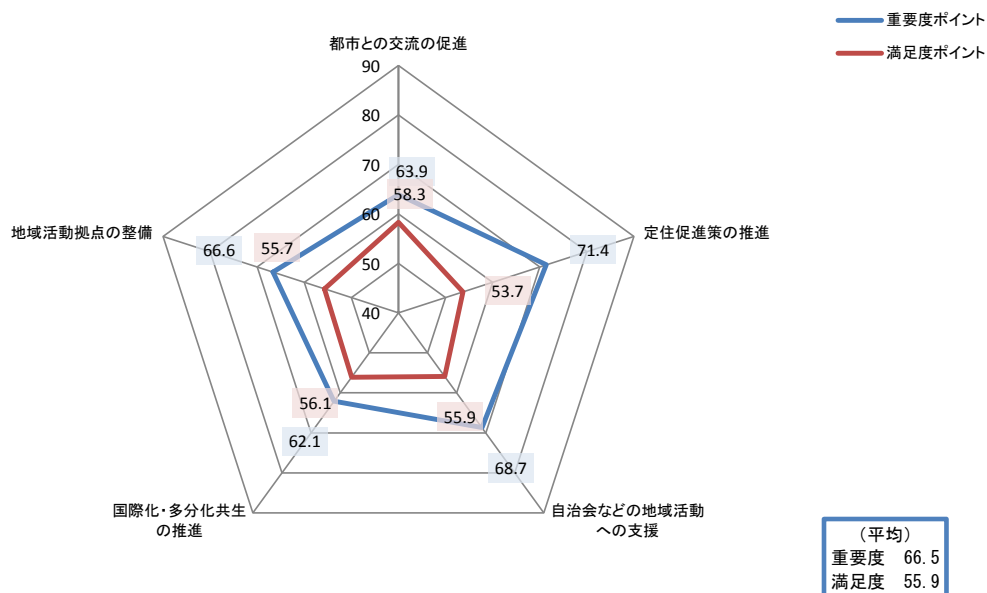


図 江田島町

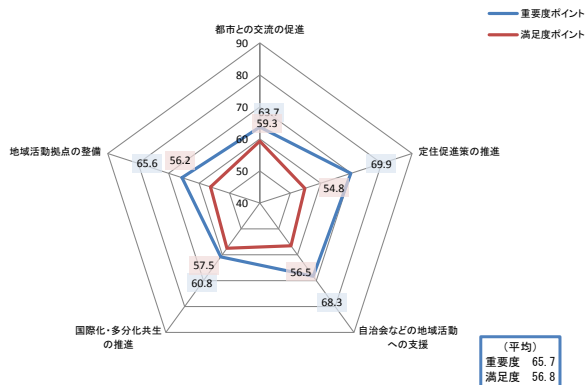


図 能美町

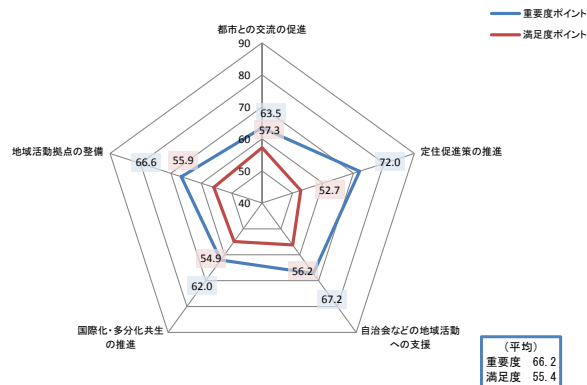


図 沖美町

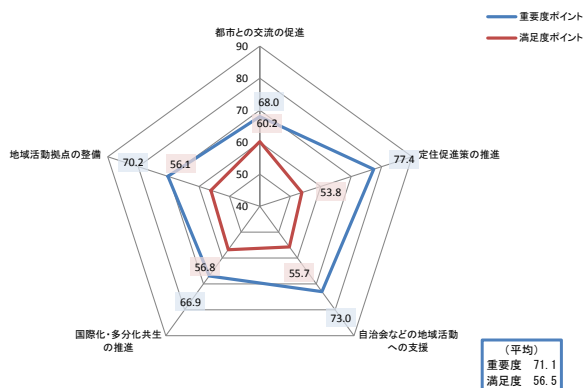
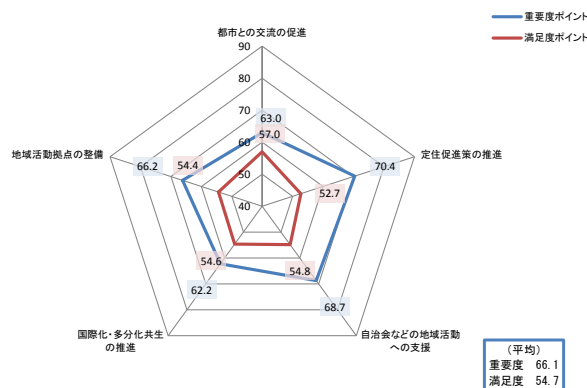


図 大柿町



ク 全般・その他

全般・その他部門の項目別にみると、「行財政改革への取組」や「市民の意見の把握・反映」で満足度ポイントが51点台と低くなっています。

また、全項目で重要度ポイントが70点を超えています。満足度ポイントとの乖離が20点を超えるのは、「行財政改革への取組」、「市民の意見の把握・反映」、「市役所・支所などの窓口対応」、「市民と行政が協力・連携して取り組む協働のまちづくり」の4項目となっています。

図 全般・その他部門のポイント状況

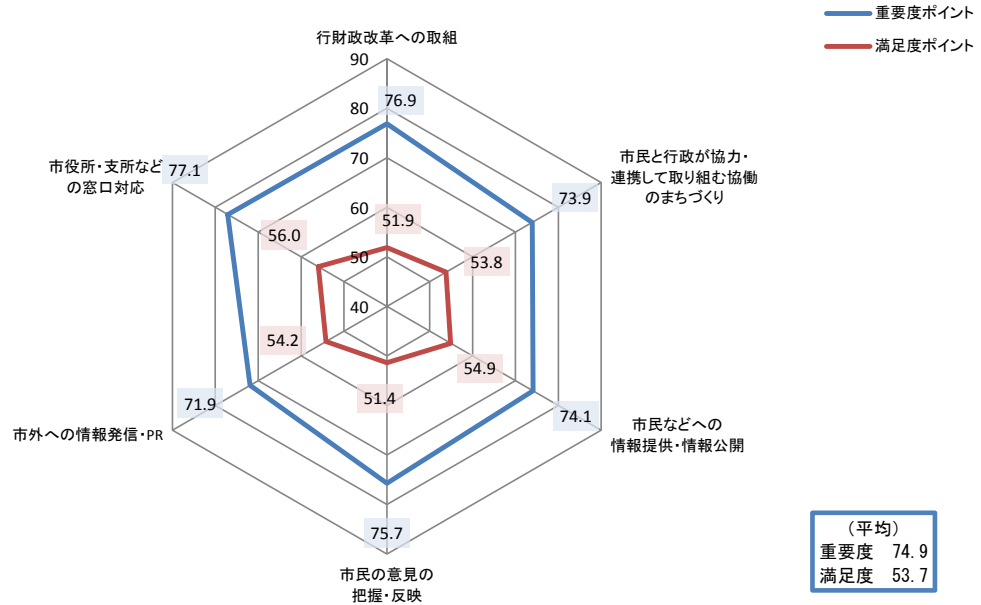


図 江田島町

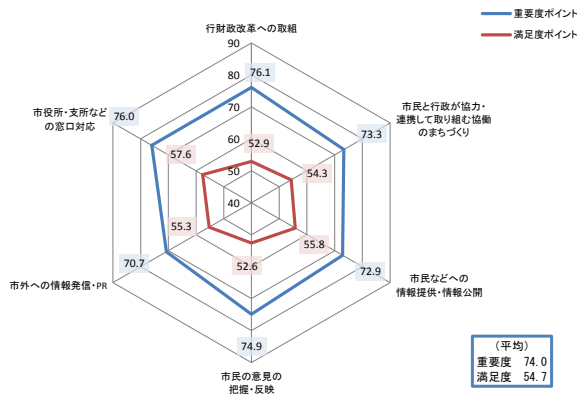


図 能美町

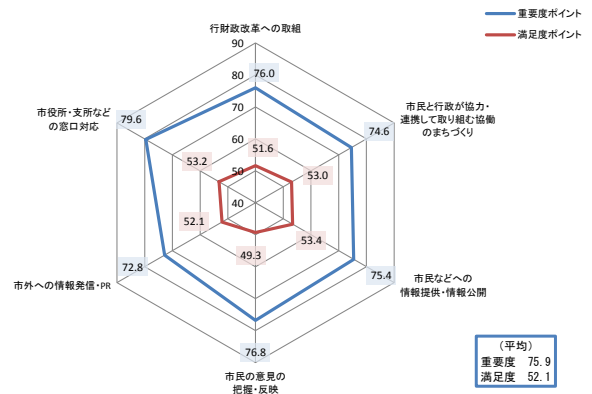


図 沖美町

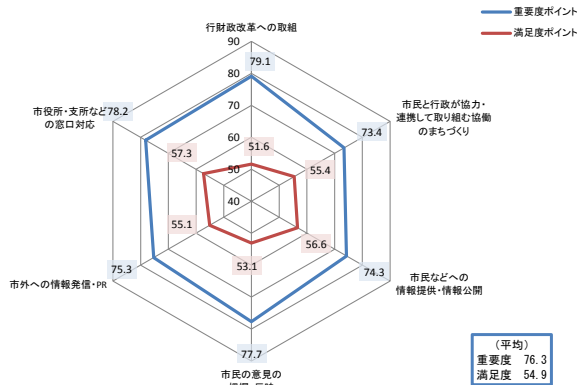
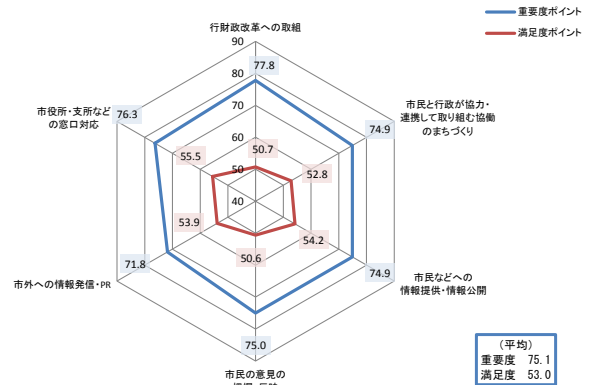


図 大柿町



第4 自由意見

アンケート調査の最後の問いである「3 その他（自由記入欄）」への記載について、記入件数は以下のようになります。

<記載状況>

有効回収調査票 718 票のうち、自由記入欄に記載のあった調査票は 256 票で、記載率は 35.7%となります。居住地別でみると、江田島町、能美町、大柿町の記載率が 35%を超えています。

表 自由意見の記載状況

区 分	回収数	記載票 (票)	記載率 (%)
全 市	718	256	35.7
江田島町	283	106	37.5
能美町	150	54	36.0
沖美町	97	27	27.8
大柿町	180	68	37.8
不明	8	1	12.5

<記載分類>

記載された内容は、1 調査票に複数の意見（内容）がある場合があるため、それらを意見ごとに整理すると、全体で 398 件となります。

記載内容を分類すると、「基盤」が 87 件で最も多く、次いで「行政運営」が 49 件、「産業・観光」が 48 件、「福祉・保健」35 件などとなっています。

表 自由意見の記載分類

分 類	件 数
教育・文化	15
産業・観光	48
福祉・保健	35
生活・環境	21
安全・安心	26
基盤	87
地域	13
アンケート関連	24
広報・宣伝	7
行政サービス	17
行政運営	49
まちづくりの方向	22
現状への評価	24
その他意見等	10
合計	398